



文学部

SENSHU UNIVERSITY

2027



日本文学文化学科

Department of Japanese Literature and Culture

英語英米文学科

Department of English

哲学科

Department of Philosophy

歴史学科

Department of History

環境地理学科

Department of Geography

ジャーナリズム学科

Department of Journalism



専修大学



目まぐるしい
世の中だからこそ、
目に見えないものを
大事にしたい。



1

深く学べる多様な学問に
出会える

他大学より必修科目の数を少なくしています。そのため文学部の科目であれば、興味・関心のある科目を深く学べます。

2

自分に合った
時間割が作れる

どの時間にも多くの科目がおかれ、選択の幅が多彩になっています。そのため、あなただけの時間割が作れます。

専修大学文学部

4つの特色

Four Features

3

ゼミナールに
必ず参加できる

4年間を通して、少人数での授業が数多く用意されています。なかでも、ゼミナールでは徹底した少人数教育が行われています。

4

多様な分野で活躍
幅広い進路が開かれている

教員や公務員、金融・情報通信・マスコミなど、卒業後の進路は実にさまざま。学んだ専門を活かして幅広い業界で活躍できます。

専修大学文学部では、活きた知性の修得を目標に掲げ、実習や調査を重視した学びを各学科に広く取り入れています。日々の学びや発見の中で、未知なる世界がつながってゆく喜びをぜひ文学部で体験してください。



文学部長
高久 健二 教授

探求心を育む、自由な学びの場。文学部で自分の道を創造しよう。

文学部には6つの学科があり、みなさんの探求心を満足させる多種多様な専門分野が準備されています。各学科には幅広い教養を身につけるとともに、研究をさらに深めていくための専門科目が充実しています。さらに、実習や調査などの授業も設けられており、実践的なスキルを身につけることができます。また、各学科に設置されているゼミナールは少人数授業であり、各自の研究分野に最も近い教員から直接的に指導を受けながら、好きな研究を思う存分深められる場です。また、ゼミナールを通じて共通の関心をもつ仲間たちと会うこともできます。ゼミナールでの切磋琢磨を経て、そのゴールとして卒業論文・研究があります。さらに研究を深めたい場合には、大学院も準備されています。正確な答えが見つげにくい現代社会を生きていくためには、従来の決められた受け身の学びだけでは不十分であり、みなさんの主体的な探求心が不可欠です。文学部のカリキュラムは自由度が高いため、積極的な参加に期待しています。

なぜ人は物語を
求めるのだろう。



P05 日本文学文化学科

Department of Japanese Literature and Culture

- 古典文学、近現代文学
- 創作
- 伝統文化
- マンガ・アニメーション

P17 歴史学科

Department of History

- 五感で知る歴史
- 発掘調査実習
- 過去という異文化との対話
- 日本史、ヨーロッパ・アメリカ史、アジア史、考古学

私だけの歴史、
私が発見した
物語がある。



コミュニケーションでは
「誰に」「何を」「どのように」
伝えるのかを考えることが
大事なんだ。



P09 英語英米文学科

Department of English

- 世界で通用する英語力
- 異文化交流
- 英米映画論
- 協定校留学

P21 環境地理学科

Department of Geography

- 日本を、世界を、環境を理解する
- 徹底した少人数教育
- 野外調査法
- 地表を改変する自然と人間の営み

街って、
人の意思の
集合体なんだ。



正しいとは、
一体何だろう。



P13 哲学科

Department of Philosophy

- 思想、宗教、芸術、神話
- 哲学を広く、深く学ぶ
- 人はなぜ生きるのか
- 本質を見る力

P25 ジャーナリズム学科

Department of Journalism

- メディアの現実
- 社会が直面する課題
- 好奇心、行動力、想像力
- MLA(ミュージアム、ライブラリ、アーカイブ)

問われているのは、
社会を
変えてゆく力だ。





日本文学文化学科

日本の文学・文化への理解を深め
世界に向けて視野を広げる。

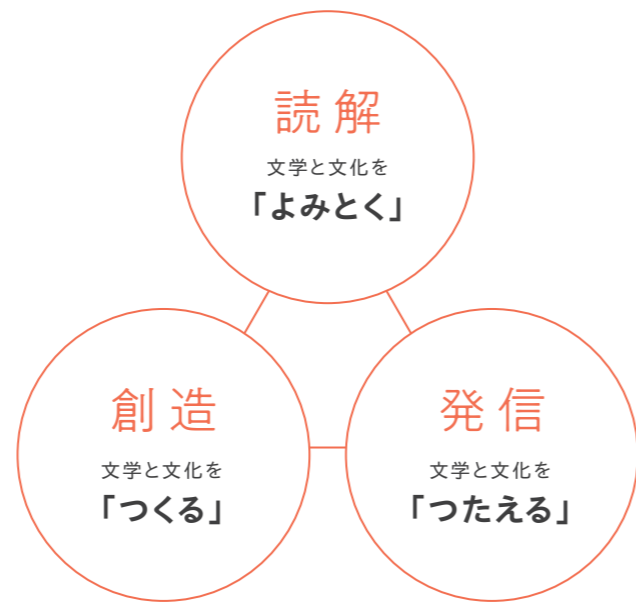


学びの特徴

日本の文学や文化は日々創造・発信され、
世界からも関心を集めています。
その源である古典についての読みを広げながら、
近現代の日本の文学・文化についても、
さまざまな角度から深く学びます。

特色あるとりくみ

書道、文藝創作、演劇、雑誌編集など、
文学や文化を自らの手で創ることについて
学ぶ授業が設定されています。



卒業後の将来像

社会人としての活躍

- 教員
- 公務員
- 情報通信業
- 小説・童話作家
- 医療・福祉事業
- 小売業
- 流通
- 製造業
- 金融

取得可能な資格

- 教員免許(中学校:国語、高校:国語、書道)
- 司書
- 司書教諭
- 学校司書
- 学芸員

大学院への進路

より専門的な研究を続けたい人には、大学院で学ぶ道が開かれています。より高度な知識を得るとともに、深い思考力と柔軟な想像力、また的確な判断力を養います。日本文学・日本文化研究を通して、ゆるぎない「知」を身につけ、それを社会に活かすためのさまざまな環境が用意されています。

Curriculum (カリキュラム)

1年次	2年次	3年次	4年次
■ 専修大学入門ゼミナール	■ ゼミナール1	■ ゼミナール2	■ ゼミナール3
■ 日本文学概論1・2 ■ 日本語学概論1・2	■ 日本文学通史1・2 ■ 中国文学講義1・2	■ 日本文学講読1・2 ■ 日本文化講義1~8	■ 日本文学講義1~6 ■ 出版文化論1・2
		■ 日本文学研究1~8 ■ 日本文化研究1~8 ■ マング研究1・2 ■ 比較文学研究1・2	■ 児童文学研究1・2 ■ ビジュアル文化論 ■ 中国文学研究1・2 ■ 中国文学史1・2 ■ 伝統文化研究1・2 ■ 演劇研究1・2 ■ 文藝創作1・2
■ 書道1~6		■ 書道史	■ 書道美学論

卒業論文

POINT

カリキュラムの特徴

日本の文学と文化を専門的かつ総合的に学べる魅力的な講義の数々。

1年次には入門ゼミナールを通して大学での学びに必要な基礎知識を修得します。その上で、2年次から各自の関心にあつたゼミナールに所属し、より専門的に学修することができます。授業も、日本文学および日本文化に関する講義が展開されているほか、主体的に創作する授業が充実しているのも特徴です。

Courses (授業・ゼミ)

講義授業



古典から現代までの文学とさまざまな文化の両方を学ぶことのできる多様な講義を展開。

日本文学文化学科では、古典文学や近現代文学はもちろん、日本文学と関わり深い伝統文化、中国文学、書道など、さまざまな授業が展開されています。文藝創作、出版編集の分野や、映画、演劇、アニメ、マンガなどについての授業も充実しており、グローバルな視野を身につけるために必要な学びが可能です。写真は宇野先生の『伝統文化研究2』の授業で、釈迦の一生を語るお伽草子の絵巻について説明しているところです。

ゼミナール



個性を重んじる多彩で実践的な学習環境で考え方を深め、表現力を培う。

ゼミナールではそれぞれに個性的な活動が行われています。2年生以上の学生は全員、自分の興味のあるゼミを選んで所属し、そのゼミで卒業論文・作品を制作します。合宿を行うゼミもあります。写真は、書道について研究する松尾ゼミの風景です。直接、古典(拓本・法帖)や文献にふれ様々な角度から分析した上で、自らも筆を執り表現し理解を深めています。

Professor's Message

〈 教員紹介 〉

※2026年4月現在



大浦 誠士 教授

日本文学(古代文学、上代文学、和歌)

万葉集や古事記など、日本の上代文学が専門分野です。特に万葉集の歌の表現について研究しています。日本文学講義では、古代和歌の表現方法について考察を行っています。



今井 上 教授

日本文学(平安朝文学)

源氏物語を中心とした平安朝文学を研究しています。この時代の文学や文化には、よく分からないことが山積しています。深く読み、考えることを通じて、新たな発見を積み重ねていきましょう。



蔦尾 和宏 教授

日本文学(中世文学)

説話、歴史叙述を中心に中世文学の研究をしています。説話の醍醐味は何と言っても、豊かに描かれた人間の諸相です。本文と向き合い、どうすれば、もっと知的に面白い読み方ができるのか、いつも考えています。



丸井 貴史 准教授

日本文学(近世文学)

中国白話文学からの影響を主たる視座として、江戸時代の小説を研究しています。中国からもたらされた新しい文学に対して、近世の人々がどのように向き合い、そしてそれをどのように自らの作品に取り入れていったのか、目下の関心事です。



山口 政幸 教授

各国文学・文学論(日本近代文学)、日本文学(日本近代文学)

谷崎潤一郎が専門ですが、乱歩や横溝、清張などのミステリーも扱っています。講義では、映画化された小説を取り上げ、映像が伝える内容と、言語が伝える内容との違いに注目したりします。



鈴木 愛理 准教授

国語教育(文学教育)、日本文学(近現代文学)

文学を読むとはどのような営みなのか、それを学ぶことにはどのような意味があるのか、文学教育のありかたを中心に、国語教育について研究しています。読むことの理論、日本語の現代小説、読書などを研究対象としています。



宇野 瑞木 准教授

日中比較文化論、日本古典文化、絵を伴う説話・物語

日中を中心に東アジアに伝播した説話・物語の研究をしています。ゼミでは、具体的な説話やお伽草子などを取り上げ挿絵も含めて読解します。また大陸から渡来した説話の変容に着目し、比較文化論的な考察も行います。



廣瀬 玲子 教授

中国文学・中国哲学

中国の元・明代の戯曲を研究しています。また、中国で「文学」や「哲学」など近代的な学問分野がどのように成立したかについても考えています。「中国文学史」では、長い歴史をもつ中国の小説の数々を紹介しています。



小林 恭二 教授

文藝創作

プロの作家養成を目的としたゼミです。そのためにはきちんと書き、きちんと読むことが要求されます。テキストは友人の作品であり、自分の作品です。スリリングな授業となりますが、作家となるための血肉となります。



松尾 治 准教授

書道(書学書道史、書道教育)

日本の名筆(含中国)の書法だけでなく、その書美の成立について人物や時代背景と共に総合的に研究します。又、それらの成果を現代書の研究や作品制作(創作)へ発展的に捉えていきます。教職科目では学習指導要領に沿った授業研究も担当します。



小山内 伸 教授

演劇研究、現代文学

朝日新聞の文化記者として文芸・演劇を担当してきました。人気が続くミュージカルの専門家でもあります。現場で取材した経験を生かして、良質のテキストを選び、アクティヴな学問として現代文学・演劇の授業をします。



川上 隆志 教授

出版文化論、日本文化論

岩波書店での編集者経験に基づき、現代における編集者の意義の研究とアジアのマイノリティ文化の研究がテーマです。「ゼミナール」では、現代文化に関する研究発表に加え、学生による雑誌編集を実践しています。



米村 みゆき 教授

日本文学(日本近現代文学、アニメーション文化論)

日本近現代文学およびアニメーション文化論を専門領域としています。宮沢賢治、村上春樹、宮崎駿、高畑勲などを研究対象としています。「ビジュアル文化論」では、スタジオジブリ作品の文化論的考察を行います。



私がめざす将来像

Student's Voice

〈 在学生インタビュー 〉

角度を変えて捉え直してみると、新たな光が見えてきます。

勝田 衣都 さん 宇野ゼミ 3年生(取材時)

自分の興味関心が幅広く学べることから、日本文学文化学科を選びました。この学科の学びで面白いと感じるのは、どの講義を受けていても、そのジャンルの新しい一面を知ることができる点です。例えば、国語の教科書に載っていた昔話の原話はもともとどのような内容で、どう変化してきたのか、映画の一場面はなぜこうなっているのかなど、今まで知っていると思っていたことや気にしていなかったことでも、様々な角度から捉え直すことで、まったく違った見方ができるようになります。

私の1週間(2年次後期)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1					
2	中国文学研究2	ゼミナール1	アジア文化研究2	日本文化研究4	日本文学研究4
3	演劇研究2		世界の言語と文化(インドネシア語)	図書館基礎特論	日本文化研究8
4	現代文化研究2	世界の言語と文化(ロシア語)	映画研究2		マンガ論
5					

将来は自分の好きなことや興味があることに関連した仕事に就きたいです。その中で、本学科の「自分の興味を学びにつなげ、様々な角度から考えを深める」というプロセスを活かすことができたらと思っています。どのような問題に対しても幅広い視野を持って、楽しさや面白さを見つけ、困難を乗り越えていけるようになりたいです。

Topics

〈 トピックス 〉



ゼミナール合宿

写真は書道の松尾ゼミが合宿で奈良の墨工房を見学し、説明を受けている風景です。ゼミ生の研究内容にあわせて企画され、各自の研究に役立っています(合宿を行わないゼミもあります)。



日本語日本文学文化学会

教員、学部学生、院生が参加します。春と秋に大会を開催、年2回研究誌『専修国文』が発行されます。



雑誌『SHOW』

出版・編集学の実践的活動として、雑誌『SHOW』を年1回製作しています。川上ゼミの学生が企画立案から編集会議、取材、記事の執筆、誌面レイアウトまで行っています。

Graduate's Voice

〈 卒業生インタビュー 〉

物事を批評的な目線で見つめ、言語化する能力は、今でも貴重な財産になっています。

矢内 有紗 さん 小山内ゼミ 2021年3月卒

所属先 **早稲田大学文学研究科(博士課程)**

現在は現代演劇についての研究をしながら、劇作家としても活動しています。専修大学では「現代演劇・ミュージカル」を学べる小山内先生のゼミを選択し、ゼミにて劇評執筆の課題を通じて、物事を批評的な目線で見つめ、言語化するという能力を磨きました。自身の劇作を上演するチャンスにも恵まれ、今の作家活動に繋がっています。これらの経験は、今でも貴重な財産です。



英語英米文学科

英語+異文化理解、世界で通用する英語力を磨く。

学びの特徴

「英語力」をキーワードに、まずは英語を
道具として使いこなす実践力を鍛え、
さらには言語・文化・文学・歴史を深く学びます。
「英語」を武器に未来の可能性を
いっしょに切り開きましょう！



学びを支える仕組み

【きめ細かな指導】

1年次の専門入門ゼミナールは20名程度の少人数制で、
英語力の基礎となる文法・語彙・音声を訓練します。

【アクティブ・ラーニングに基づいた授業】

情報を発信するスキルを磨くため、
ペア/グループワーク、ディスカッションなどの
実践的な学びの場を設けています。

【英語力の向上と教養】

英語総合演習では、
学生のレベルに応じた指導で英語の
総合力をさらに向上させる授業を行います。
3年次からのゼミナールでは、
自分の関心のあるテーマを研究します。

英語学

音声・統語・形態を
学び英語構造の
理解を深めます。

アメリカ文学

著名な作品を学び
アメリカ文学独自の
魅力を学びます。

アメリカ研究

歴史、文化、地理、
芸術など多面的に
アメリカを理解します。

イギリス文学

伝統あるイギリスの文学作品や
その映像化を通して、
イギリス文学の
エッセンスを掴みます。

イギリス研究

英語発祥の地の文化や
地域性についての
知識を修得します。

応用言語学

効率的な英語学習と
その教え方についての
知識を深めます。



卒業後の将来像

社会人としての活躍

- 教員
- 航空会社
- 地方公務員
- 旅行会社・ホテル
- マスコミ(放送・新聞・出版)
- 金融・不動産

取得可能な資格

- 教員免許
(中学校:英語、高校:英語)
- 司書
- 司書教諭
- 学校司書
- 学芸員

大学院への進路

- 英文学
- 英語学
- 米文学
- 応用言語学
- 英米研究



Curriculum

〈カリキュラム〉

1年次

1年次では転換・導入教育のゼミナール、教養科目、学科の専門科目を学びます。

▶ 英語基礎スキル科目 (Listening, Integrated English, Reading, Composition, Speaking)

入学時に受験するTOEIC®のスコアでクラス分けを行い、習熟度に応じたクラスで集中的な基礎訓練を行います。Integrated EnglishとSpeakingはすべてネイティブスピーカーの教員が担当します。

▶ 英語英米文学概論

英語の専門分野の入門講義で、2年次に始まる専門科目への準備として、各領域の基礎的知識の修得に努めます。

2年次

2年次からコースに所属し、コースで指定されたカリキュラムを履修します。
担任制を導入し、英語総合演習では、学生のレベルに応じた指導で英語の総合力をさらに向上させる授業を行います。

📖 英語コミュニケーションコース

さまざまなコミュニケーションの場面に対応できる運用力を身につけることを目的としたコースです。ネイティブスピーカーの教員による授業「Speaking3・4」が必修の他に、Listening, Reading, CompositionのそれぞれのAdvanced科目が選択必修として用意されています。さらに、「通訳入門」「英語プレゼンテーション」も必修。より高度な英語技能を身につけます。また、アメリカ等にある協定校への留学も積極的に奨励しています。

📖 英語文化コース

「英語」ということばのしくみや歴史、英語で表現された文学、そして英語の歴史・社会・文化的背景などについて学ぶコースです。伝統的な専門領域だけでなく、「英米映画論」など現代的なテーマを扱う講義も開講されています。ネイティブスピーカーの教員による授業「Speaking3・4」が必修の他にListening, Reading, CompositionのそれぞれのAdvanced科目が選択必修として用意されています。英語の運用能力の向上をめざすと共に、アメリカ等にある協定校への留学も奨励しています。

3年次

3年次からは、全員がゼミナールに所属します。
ゼミナールでは、15名程度の少人数で、自分の関心のあるテーマについて研究を行います。

4年次

4年次では、「卒業研究」が必修です。それぞれのゼミ担当教員の指導を受けて取り組みます。
卒業研究では論文のほか、通訳コンテストやプレゼンテーション、翻訳などさまざまな形態が用意されています。

POINT

カリキュラムの **特徴**

01

「英語」に関係があれば、どのような関心・目的にも応えられるだけのスタッフと教育プログラムを備えています。

02

海外留学の道も開かれており、英語圏の協定校で修得した単位の多くは本学の科目に振り替えができます。

Student's Voice

〈在学生インタビュー〉

実践的・専門的な学びを
深めながら、
夢に進んでいきます。



岩井 春樹 さん

英語コミュニケーションコース
田邊ゼミ 3年生(取材時)

空港で働く夢に向けて、語彙力を始めとする英語力を体系的に伸ばしたいと考え、英語英米文学科を志望しました。英語コミュニケーションコースでは、実践的な通訳・翻訳に加え、専門的な文学やネイティブ教員によるライティングを学んでいます。今後はさらに異文化理解や状況に応じた表現力も磨き、将来の夢である国際業務に活かしていきたいです。

私の1週間(3年次前期)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1					
2	英米文学文化 特殊講義 3	翻訳演習 3	英語学の諸問題 1	Japan & the World 1	文学作品と 英語表現
3	ゼミナール1	Business & English 1		英語圏の 歴史・社会・文化	英国・英語圏の 文学と文化
4		英文法のしくみ			
5					

英語科の教員を目指して、
基礎から学び、
興味の幅を広げています。



中島 琴音 さん

英語文化コース
佐々木ゼミ 3年生(取材時)

英語科の教員を目指すために、英語学や英語圏の文化・文学などを幅広く学ぶことのできる英語英米文学科を志望しました。本学科では1年生で丁寧に英語の基礎を学修してから専門科目の講義が始まるので、しっかりと英語の知識を深めた上で、無理なく専門分野の理解へ繋いでいけます。多様な分野から授業を選択し、様々な知識を得られることが楽しいです。

私の1週間(2年次前期)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	Speaking3	教職入門			
2	英語科教育法1	ことばと社会・文化	英語学の諸問題1		文学作品と 英語表現
3	英語総合演習1	言葉とメディア	Advanced Reading 1	英語圏の 歴史・社会・文化	ことばの獲得1
4		現代文化研究1	心身の発達と 学習の過程	英文法のしくみ	教育方法論 (情報通信技術の活用を含む)
5				英語の音声	

Seminars

〈ゼミナール紹介〉



英語史を学び、歴史的な視点から英語を分析する

このゼミでは、英語史を専門的に学び、歴史的な視点から英語の多様性や変化について考える力を身につけます。約1600年にわたる英語の歩みをたどることで、世界各地で使われている多様な英語の特徴や、現代の英語に生じている変化の背景について深く理解することができます。また、辞書や語法書といった専門的な参考図書の使い方や、コーパスなどの研究ツールの活用方法についても基礎から丁寧に学びます。こうして身につけた知識と技能をもとに、学生それぞれが興味を持ったテーマを選び、自分の研究に主体的に取り組んでいきます。

専任教員担当ゼミナールのテーマ

※2026年4月現在

石塚 久郎 教授	障害とケアから読み解く英米文学・文化	末廣 幹 教授	シェイクスピア演劇とアメリカのミュージカル映画を読み解く —「十二夜」からミュージカル映画「ウィキッド ふたりの魔女」まで
大久保 謙 教授	短編小説を読む	田邊 祐司 教授	日英通訳コミュニケーション
岡部 玲子 教授	心理言語学—ことばの獲得と習得	道家 英穂 教授	英文学作品のイングリッシュネス(イギリスらしさ)
小畑 美貴 教授	ことばの科学:文の形と意味を考える	中垣 恒太郎 教授	アメリカ思春期文化論研究
片桐 一彦 教授	英語の習得と教育についての研究	三浦 弘 教授	英語の発音と方言
菊地 翔太 准教授	英語史を学び、英語の多様性と変化を歴史的な視点から分析する	Peter Longcope 教授	Exploring Educational Linguistics
Hamish Gillies 教授	Exploring second language learning, teaching, and using: Thinking, feeling, doing!	渡邊 真理子 教授	アメリカ文学研究
佐々木 優 准教授	アメリカの「文化」を学ぶ		



シェイクスピア演劇とミュージカル映画の文化史

3年前期には、シェイクスピアの芝居1本を選んで、原書を参照しつつ、映画化や日本における上演の映像を観ながら、言葉や台詞のさまざまな解釈の可能性を検討します。3年後期には過去のミュージカル映画の代表作を選び、毎週PowerPointによるプレゼンテーションで、登場人物の造型、物語のプロットや挿入歌の歌詞とメロディやダンスの振り付けへの注目を通じて、作品の理解を深めます。さらには、映画が当時の社会や文化をどのように反映しているか具体的に考察し、4年次の卒業研究への接続を行います。

Courses

〈科目紹介〉

通訳入門



この授業では日英通訳者のトレーニング法を応用しながら、受講者の語彙・文法・音声などの「英語の骨格」をしっかりとしたものに変え、同時に簡単な通訳の基本技能の修得をめざしています。日本語を英語にしたり、逆に英語を日本語にするという「往復練習」の効果はてきめん!英語力だけではなく日本語の力も格段に向上します。

主な開講科目

- 通訳入門/通訳演習
- Business & English
- 英国・英語圏の文学と文化
- イギリスの歴史と文化
- 英語教育の研究と実践
- 翻訳入門/翻訳演習
- Media English
- 英文法のしくみ・英語のしくみ
- アメリカの歴史と文化
- 外国語学習の科学
- 英語プレゼンテーション
- イギリス文学の世界
- 英語の変遷史
- Japan & the World
- 中期留学
- 国際理解
- アメリカ文学の世界
- ことばと社会・文化
- 英米ポップカルチャー論
- 長期留学
- 英語圏の歴史・社会・文化
- 英米の小説・詩・演劇
- 異文化コミュニケーション
- 英米映画論
- Special Seminar

英語圏の歴史・社会・文化



This course is a content-based English class, which is to say that the students work on improving their English through learning content. In the case of this class, the content area that they study about is the spread of English to different places in the world, the different kind of Englishes that have resulted from this spread, and some of the issues that have resulted from this spread. All work is done in English, so students have many opportunities to use English in a natural way, for doing the assigned readings, for listening to lectures, and for discussing relevant topics with other students, both in class and online.

Student's Voice

〈内定者インタビュー〉

大学で得た学びを忘れず、生徒たちにも英語の面白さを教えていきたいです。



和田 萌花 さん
英語文化コース 菊地ゼミ 4年生(取材時)

内定先 神奈川県教育委員会(公立高等学校教員)

専修大学では幅広い分野を総合的に学び、それらが相互に繋がっていることを理解する中で、言語を多角的に捉えられるようになりました。また、ゼミで英語史を学び、英語の変化の背景を知ることで、現代英語の多様性への理解がより深まりました。教師として生徒に英語の多彩な魅力を伝えられるよう、4年間で得た経験や知識を活かしていきたいです。

大学生活で培った積極的な行動力を活かして、成長していきたいです。



萩生田 のえる さん
英語文化コース 上村ゼミ 4年生(取材時)

内定先 Peach Aviation株式会社

大学生活を通して積極的に行動したことで、自分の考えを発信する力を身につけることができました。2年次の前期に参加した中期留学では環境の異なる場所でも気後れすることなく行動する姿勢を培い、ゼミナールでは発表を通して相手を尊重しながら意見を伝える力を磨きました。就職後も目の前のチャンスを見逃さず成長を続けていきたいです。

言葉の歴史から学んだ多角的な視点から多くの人に自分の思いが伝わるよう発信をしていきます。



阿部 春海 さん
英語文化コース 菊地ゼミ 4年生(取材時)

内定先 JCOM株式会社

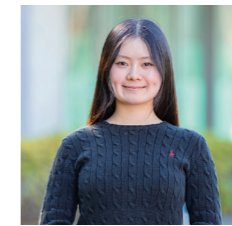
英語史のゼミナールを通して、言葉一つひとつに時代や文化など多様な背景があることを学びました。表面的な意味だけでなくその背景を理解する大切さを知り、多角的な視点から相手の立場を考える力が身につきました。就職後もこの力を活かし、より多くの人に自分の考えが伝わるよう発信をしていきたいです。

Study Abroad

〈留学体験談〉

留学先大学 → オーストラリア / ウーロンゴン大学

多様な文化が息づくオーストラリアで、さらなる興味が芽生えました。



休庭 なつみ さん
英語コミュニケーションコース 末廣ゼミ 3年生(取材時)

海外で英語を学びたい、日本とは異なる文化の中に身を置きたいという思いから留学を決めました。多文化社会のオーストラリアでは、日本での暮らしとは異なり、日々多様な価値観や食べ物、習慣に触れ、新たな世界が広がっていくのを実感しました。その経験は、さらに未知の文化を知りたいという探求心を育てると同時に、日本文化の奥深さに改めて気づきかけにもなりました。

留学先大学の雰囲気・思い出 /



先生方は休日ともにするほどフレンドリーでした。学生主催のクラブへの参加を通して多くの友人ができました。車で各地を案内してくれたことなど、その全てが忘れられない大切な思い出となりました。

留学先大学 → ニュージーランド / ワイカト大学

自ら海外の地に飛び込んだからこそスキルを上達させられました。



宮鍋 琴美 さん
英語文化コース 上村ゼミ 3年生(取材時)

自発的に踏み出す経験をしたと思い、留学を決めました。今までは自分の英語に自信が持てず、話すことを避けてきましたが、留学先で授業も生活も英語で過ごす間に、段々とミスは恐れなくなり、自信が持てるようになっていきました。また現地の友達やホストファミリーと何かを共有したいと思えば思うほど英会話のモチベーションも自然と高まりました。文化の違いを肌で感じて学べたことなど、日本では得られない経験がたくさんできてきたと強く感じています。

留学先大学の雰囲気・思い出 /



ニュージーランドでラグビーの試合を観戦する機会があり、スポーツ観戦が生活の一部として親しまれている独自の文化を感じました。試合中は観客同士が自然に声をかけ合い、得点が入るたびに声を揃えて歓声を上げる一体感に心が湧き立つ思いがしました。

哲学科

世の中のすべての事象を取り上げて、
社会や人間を根源的に理解する。

学びの特徴

「哲学」という科目は高校にはありません。
はじめは戸惑って当然です。
そのため、専修大学文学部哲学科では
3つの新入生向けプログラムを
用意しました。



新入生向けプログラム

01

専門入門 ゼミナール

定員25名前後の小規模な授業です。
大学で学ぶための基礎的ノウハウを
身につけます。

新入生向けプログラム

02

哲学の 手ほどき

哲学科9名の先生全員が順番に哲
学の考え方をわかりやすく解説す
る入門講義です。

新入生向けプログラム

03

アドバイザー 制度

学習の仕方や、授業・単位の取り方
などについて、先輩が丁寧に教えて
くれます。

わたしは何を知っているか？

宇宙から見た地球もミロのヴィーナスも美し
いことには変わりありません。しかし、地球のよ
うな自然と、彫刻のような人工物の美しさは
同じものなのでしょうか。私たちが信じる価値
観とは何を基準としているのでしょうか。



Thinking

哲学とは？

「人はなぜ生きるのか」「うれしい、悲しい、
腹立たい、ねたましいなどの“感情”は
なぜ生まれるのか」「なぜ時間はたつのか」
など、すべて、昔から多くの哲学者の頭を悩
ませてきた問題です。

広く深く学ぶ場所

さまざまな哲学、思想を学び、芸術や宗教、
神話などについて広く研究できるのが専
修大学文学部哲学科です。



さまざまな哲学

哲学にもさまざまなものがあります。西洋
やインド、日本など、地域ごと、また時代ご
とに考え方も違います。自然の美しさや芸
術の諸問題、人の行いの善し悪しや生き方
など、主題ごとの区別もあります。



Curriculum

〈カリキュラム〉

	ゼミナール	基礎	深く	広く
1年次	<ul style="list-style-type: none"> ■ 専修大学入門ゼミナール(前期) ■ 専門入門ゼミナール(後期) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 哲学の手ほどき ■ 概論 哲学概論 倫理学概論 論理学概論 芸術学概論 ■ 思想史 西洋哲学史 (古代・中世・近代・現代) 日本思想史 インド思想史 中国思想史 イスラム思想史 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 芸術理解 音楽論 美術論 映像文化論 パフォーマンス論 日本の伝統芸能* ■ 人間理解 宗教学 フェミニズム思想*
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ■ ゼミナール1 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 深化 日本の思想 精神分析学 心の哲学 社会の哲学 科学哲学 ことばの哲学 論理の哲学 文化の哲学 現代思想 生命の哲学 アジア思想特殊講義 ■ 最先端 哲学特殊講義 	
3年次	<ul style="list-style-type: none"> ■ ゼミナール2 			
4年次	<ul style="list-style-type: none"> ■ ゼミナール3 			
卒業論文				

※のついている科目は2、3、4年次配当の科目です。

01 基礎から卒論までの個人的指導

哲学科の学生は全員、1年目に「専門入門ゼミナール」、2年目から「ゼミナール」に所属します。「ゼミナール」の先生が、皆さんの卒業論文まで継続的な個人的指導をしてくれます。卒業論文は4年間の勉強研究の成果です。

02 入門から学年ごとに積み上げる専門知識

哲学を学ぶ基礎となる「概論」「哲学史」「思想史」といった、丁寧な入門講義を1年生から受けることができます。2年生からはテーマを掘り下げる講義や各先生の最先端研究成果をお話する「特殊講義」がはじまります。

03 具体的な文化や人間の理解

美術や音楽、ダンス・舞踊、映画、演劇など芸術文化、宗教学、フェミニズム思想など、人間や世界についての理解を豊かにする分野の授業が幅広く用意されています。

04 自由に組める時間割

単位取得が必須となる「必修科目」が少ないことが哲学科の特徴です。そのため、他学科や他学部の科目を受講して、勉強の幅を自由に広げることができます。また、教職や司書・司書教諭・学校司書・学芸員など資格課程の講義も受講できます。

POINT

カリキュラムの特徴

卒業後の将来像

社会人としての活躍

- 地方公務員
- マスコミ(放送・新聞・出版)
- 小売業
- 不動産業
- 金融
- その他 一般企業

取得可能な資格

- 教員免許
(中学校:社会、高校:地理歴史、公民)
- 司書
- 司書教諭
- 学校司書
- 学芸員

大学院への進路

哲学にもっと取り組みたい学生は、大学院修士課程(2年間)・博士課程(3年間)に進むことができます。修士号をとって一般企業に就職する卒業生も珍しくありません。高校教員などの教職、司書、学芸員などの資格も取得することができます。

Professor's Message

〈 教員紹介 〉

※2026年4月現在



出岡 宏 教授

日本倫理思想史

「能」を通して人間を読む。能という言葉になりにくいものを言葉にする努力を通して、人間と自分自身について考えます。『高校倫理からの哲学1 生きるとは』(共著、岩波書店)、『かたり』の日本思想』(角川選書)など。



加藤 有希子 教授

美学(近現代芸術史、表象文化論)

美学/感性論を通じて、私たちの生活をかたちづけている近現代とは何かを問いかけます。とりわけ近現代芸術史、表象/視覚文化論、現代信仰論の研究を通じて、なぜ私たちが今、このように生きているのかを探っていきます。



金子 洋之 教授 ※2026年度退職予定

論理学、言語哲学、数学の哲学

言語、コミュニケーション、論理。ことばの働き、とくに自分の考えをことばで他者に伝えられるのはどうしてか、そのメカニズムを探ります。『ダメットにたどりつくまで——反実在論とは何か』(勁草書房)など。



佐藤 岳詩 教授

倫理学

この社会で私たちが直面する様々な問題を、ときには正面から、ときには「そもそも」まで遡って、現代倫理学の観点からじっくりと考えていきます。『メタ倫理学入門: 徳のそもそもを考える』(勁草書房)など。



島津 京 教授

美術論、芸術論、美術史

さまざまな芸術について、作品研究を通じて考える。それはいったいどういった背景を持ち、なぜ芸術とされているのか。『イメージとパトロン』(共著、ブリュック)、『西洋の美術』(共著、晶文社)など。



高橋 雅人 教授

西洋哲学史

古代ギリシア哲学を中核にすえ、人間とは、善とは、知とは、自己とは何かについて、対話を通じて考えます。『プラトン』『国家』における正義と自由』(知泉書館)、『知の教科書 プラトン』(共訳、講談社選書メチエ)など。



貫 成人 教授 ※2026年度退職予定

現象学、美学、舞踊学、歴史理論

ファッションやスポーツ、家族、芸術などの事柄を手がかりに「自分」や「真理」などの「哲学」的諸問題を具体的に考察します。『哲学で何をやるのか: 文化と私の“現実”から』(筑摩選書)、『哲学マップ』(ちくま新書)など。



檜垣 立哉 教授

現代フランス哲学・日本哲学・ポストヒューマンの哲学

「近現代哲学の理解を軸に、現代を生き抜くための哲学を真正面から考える。『生命と身体』(勁草書房)『日本近代思想論』(青土社)『バロックの哲学』(岩波書店)『食べることの哲学』(世界思想社)など。



宮崎 裕助 教授

哲学、ヨーロッパ現代思想

渾沌とした現代思想の水先案内人としての役を務めます。学生のみならずには、思想や哲学の面白さに触れ、現代を強く生き延びるための(知)をつかみとってもらえればと願っています。『ジャック・デリダ——死後の生を与える』(岩波書店)など。

専修大学哲学会

学年や所属ゼミを超えて教員・大学院生・学生がフランクに交流するための会です。年に一度の雑誌の発行をはじめ多彩な活動をしています。

Graduation Thesis

〈 卒業論文の例 〉

個々に関心・興味のあるテーマを自由に選べるため、多彩で個性的な論文が生まれています。

卒業論文のテーマは、学生の関心・興味にしたがって、ほとんど自由に選ぶことができます。最近提出されたものを見ると、「ドゥルーズ『意味の論理学』から意味と特異性について」のように哲学者の考えについての論文のほか、「人が死を恐れるのはなぜか」「確率論について」のような哲学的テーマに関するもの、「ノイズと音楽の境界線はどこにあるのか」「変貌から読み解く心-源氏物語」と『道成寺』を通じて-」のように芸能や芸術、文学をテーマにしたもの、「美容整形について」のように現代社会の倫理問題をテーマにしたもの、また、神話や物語をテーマにしたもの、あるいは広く人間について考察するものなど、多彩な論文が生まれています。



Student's Voice

〈 在学生インタビュー 〉

本質に迫る繊細な問題も議論を交わせるところが魅力です。

赤塚 仁美 さん 宮崎ゼミ 3年生(取材時)

友人や家族との会話の中で話題に出すと、重いか難しいと言われてしまうような、根源的だからこそ避けられてしまうような問いに答えが欲しくて哲学科に came。この学科で扱う問題は繊細な問題が多く、配慮すべきことがたくさんあるので普段の会話では自分の意見を言いにくいこともありますが、そのような問題に対して安心して自分の意見を発言し、十分に議論できる環境が専修大学には整っています。

私の1週間(3年次前期)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1		人文地理学概論a			
2	生徒・進路指導論	哲学特殊講義4		インド思想史	現代文化論1
3	倫理の哲学	言葉とメディア		出版文化論1	ことばの哲学
4			映画研究1	社会学原論1	テーマ科目(イギリス)
5		外国史b	社会学・公民科教育法1	ゼミナール2	社会学・歴史科教育法1
6	自然地理学概論a				
7				道徳の理論と指導法	

私がめざす将来像

人生の中で、一人で自分についてじっくりと考え、仲間と共に議論を交わしながら悩み抜く時間と環境は意外と少ないです。これからの将来で何か迷うことがあったとしても、大学生として過ごした4年間の、自分と向き合ってきた経験をぶれない軸として、様々な場面で役立てていきたいです。

Courses

〈 授業・ゼミ 〉



倫理学概論

倫理・道徳というと、どこか偽善っぽい感じがします。しかし「人の間」としての人間の条件という、元々の意味に戻って考えます。

日本思想史

西洋哲学と違い、日本の思想は、神話や演劇や文学または信仰という形で実践され、生きられてきました。この授業ではそういう生きた思想を(「覚える」のではなく)「体験」します。

パフォーマンス論

バレエ、ダンス、日本舞踊、盆踊りなど、多様な舞踊について、ビデオ映像を見ながらその歴史をたどり、それぞれの楽しみ方を学びます。それによって舞台芸術とはなにかを知ることができます。

Graduate's Voice

〈 卒業生インタビュー 〉

自分の意見に偏らず人の意見を取り入れることで、より良い建物造りをめざしています。

佐藤 あゆみ さん 出岡ゼミ 2018年3月卒 勤務先 三晃金属工業 株式会社

屋根メーカーの営業として建築会社に勤務しています。仕事内容は、お客様である設計事務所へ出向き、専門メーカーとして設計のお手伝いをすることです。設計者の頭にあるイメージを図面へ起こす際、哲学科で学んだ「自分の意見だけに偏らず人の意見を聞くこと」を実践し、社内外問わず様々な意見を取り入れることで、正確なイメージを掴む足がかりとしています。これからも哲学科での学びを大切に、より良い建物づくりに貢献できるよう日々励んでいきます。

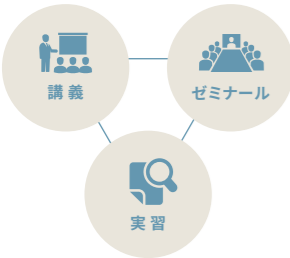


歴史学科

過去に生きた人々と社会を理解して、
現代を捉え直し、
未来を拓く知恵を見つける。



学びの特徴



- 01 考古学、日本史、アジア史、ヨーロッパ・アメリカ史の4つの領域に、14人の専任教員がそろっているの、学びたい歴史がしっかり学べます。
- 02 各ゼミナールにおいて専門的なテーマを深く研究するとともに、ゼミナールの枠をこえて広い分野についても学べます。
- 03 卒業論文を作成することを通して、問題発見能力・調査能力・文章表現力が養われます。

Courses

 (3種類の授業)

ゼミナール



史料分析に基づいた議論を重ねて歴史学に対する理解を深めます。

2年次から卒業まで所属する「ゼミ」は、歴史学科での学びの中心です。毎週ゼミで報告し、あるいはフィールドワークや実習を通して議論を重ねることで、より専門的な歴史研究の知識や技術を身につけてゆきます。

実習



貴重な古文書や出土遺物の実物に触れながら学びます。

夏休みに合宿しながら発掘をおこなう発掘調査実習、貴重な古文書の実物を所蔵している機関に向いて実際に観察して解読する古文書学実習などの実習科目が充実しています。

講義



充実した講義群、歴史の基礎から関心領域へ。

1・2年次から概論・概説などで基礎を身につけ、2年次から本格的な専門講義が始まります。世界各地の多彩な歴史の講義を学べます。



Curriculum

 (カリキュラム)

	1年次	2年次	3年次	4年次
ゼミナール	<p>■ 専門入門ゼミナール</p> <p>「歴史とはなにか」、「歴史から何を学ぶか」などを検討しながら、歴史学の学び方の基礎を身につけます。</p>	<p>■ ゼミナール1</p> <p>考古学、日本史、アジア史、ヨーロッパ・アメリカ史の各地域と時代から、自分の所属するゼミを選び、2・3年次の2年間をかけて専門的に歴史を学びます。</p>	<p>■ ゼミナール2</p>	<p>■ ゼミナール3</p> <p>4年間の大学生活の総決算として、それぞれの研究テーマについて発表し、議論しながら、その成果を卒業論文にまとめる場です。</p>
実習		<p>■ 考古学実習 ■ 発掘調査実習</p> <p>考古学実習: 考古学の基礎的な技術・方法である地形測量、遺物の実測・拓本・写真撮影、製図などを学びます。 発掘調査実習: 夏期集中のインテンシブコースであり、遺跡の発掘調査に参加し、野外考古学の技術を学びます。</p>		
講義		<p>■ 歴史資料研究法</p> <p>英語・フランス語・ドイツ語・中国語(漢文)・韓国語、また日本漢文・古文書(近世・近代)・考古学など、自分が研究対象とする国や地域の言語で書かれた歴史資料や論文、または考古学の文献を読む力を身につけます。</p>	<p>■ 古文書学実習</p> <p>毛筆で書かれたくずし字を一文字ずつ解読しながら、当時の人々の思想に迫ります。読めたときのうれしさは活字本では味わえない格別なものです。</p>	
		<p>■ 概論 ■ 概説 ■ 総合世界史</p>	<p>■ 文化史 ■ 世界史講義 ■ 歴史学講義</p>	<p>■ 2年次から4年次まで多彩な講義が受講できます。一部を紹介します。 古墳からみた国家形成/中国古代の国家と家族/東アジア関係論/アメリカの人種と政治/ヨーロッパの国家と民衆/東アジア考古学/イスラーム史/ジェンダー史/日本の宗教と社会</p>
		<p>■ 必修科目が少なく、自由に幅広く学ぶことができます。 ■ 従来の基礎的あるいは専門的な科目のほか、国や地域の枠を越えて世界史的視野を育てることをめざす科目として、世界史講義と総合世界史があります。 ■ 時代や社会の変化に即した多様なテーマを扱う講義があります。</p>		

POINT

 カリキュラムの特徴

自分自身による世界で唯一の歴史の本——「卒論」を書き上げる。

大学で学ぶ歴史は、暗記科目ではありません。みなさん自身が過去の遺物や文献に触れたり読んだりして「卒業論文」を書くこと、これが大学で学ぶ歴史です。そうした能力を身につけるため、さまざまな授業が用意されているのです。詳しくはこのページの上に載せたHPで解説しています。

《最近の卒業論文のタイトルの一部》

- 古墳時代鈴鏡の再検討
- アンシアン・レージュム期の救済
- 近世後期における江戸町人の贈答と交際
- 三・一独立運動の展開と民衆

卒業後の将来像

- | | | |
|--|---|---|
| <p>社会人としての活躍</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地方公務員 ■ 博物館学芸員 ■ 金融・保険 ■ 運輸・不動産 ■ その他 一般企業 | <p>取得可能な資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 教員免許 (中学校:社会、高校:地理歴史、公民) ■ 司書 ■ 司書教諭 ■ 学校司書 ■ 学芸員 | <p>大学院への進路</p> <p>専修大学の大学院へ進学するほか、以下のような大学の大学院へ進学しています。</p> <p>東京学芸大学/学習院大学/國學院大学/千葉大学
東北大学/一橋大学/早稲田大学/筑波大学 など</p> |
|--|---|---|

Professor's Message

〈 教員紹介 〉

※2026年4月現在

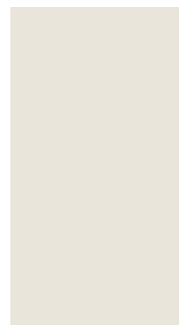
■ 日本史 ■ ヨーロッパ・アメリカ史 ■ アジア史 ■ 考古学



田中 禎昭 教授
日本古代の地域社会と王権・国家
奈良・平安時代の文献と木簡などの出土文字史料から村落・社会集団・家族の実態を読み解き、古代の天皇制と国家を支えた地域社会の構造について考えていきます。



湯浅 治久 教授
日本中世の領土・民衆・宗教
現場を重視しながら古文書などの史料を読み、中世の地域社会の特質を考えます。



廣川 和花 教授
日本近代の社会と医療
人が「生きること」の歴史を、医療や地域、生活の視点から考えます。



中林 隆之 教授
日本古代の社会・国家と宗教・文化
古代の宗教・思想・文化の特質について、地域社会や国家、さらに東アジア諸地域との関わりを意識しながら考えます。



西坂 靖 教授
日本近世の都市社会史
江戸時代の京都・大阪・江戸などの大都市とそこで暮らし働く人々に注目しながら、近世社会の特色を考えていきます。



鬼嶋 淳 教授
日本近現代の社会と政治
近現代日本社会の歴史、とくに「戦後」日本社会がどのように形成されてきたのかを、地域に暮らす人びとの視点から考えます。



日暮 美奈子 教授
ヨーロッパ近現代史
専攻はドイツ近現代史です。とくに19/20世紀の「社会問題」とその克服の試みについて、ジェンダーや人の移動といった観点から考えています。



南 修平 教授
アメリカ史
アメリカ合衆国に生きる様々な人々の生活世界に関心を持っています。人種やジェンダー、愛国主義といった意識が日常の中でどのように創られ、機能しているかを考えています。



松本 礼子 准教授
ヨーロッパ前近代史
近世フランス史を専門としています。特に18世紀の都市統治のあり方を社会的に周縁に置かれた人々の視点から考えています。



志賀 美和子 教授
インド近現代史
下層民や女性など「周縁」におかれた人々の立場から近現代インドを見ることを通じて、植民地支配やナショナリズムの問題について考えてゆきましょう。



多田 麻希子 講師
中国古代史
近年中国全土から陸続と発見されている出土簡牘を主な史料として、秦漢時代の家族や地域社会の構造を探り、『史記』や『漢書』からはうかがいしれない人々の営みを探求しています。



田中 正敬 教授
朝鮮近代史・日朝関係史
近年は1920年代の朝鮮と日本との関係に関心を持っています。東アジアの近代とはどのような時代だったのか、一緒に考える機会を持ちたいと思います。



高久 健二 教授
韓国・朝鮮考古学
奈良郡および三韓・三国時代の古墳文化が専門ですが、東アジアの考古学、特に韓国・朝鮮考古学の諸問題について、最新の調査・研究成果をもとに、幅広い視野から探究していきます。



小林 孝秀 准教授
日本考古学
特に古墳時代を専門とし、巨大な古墳が造られた時代とはどのような時代であったのか、遺跡から発掘される様々な資料をもとに、多角的な視点から研究しています。

Student's Voice

〈 在学生インタビュー 〉

実際の資料に触れながら、幅広い時代・地域の学びを深めています。

小田倉 楓さん 廣川ゼミ 3年生(取材時)

高校時代から歴史を学ぶことが好きで、大学では教科書など誰かがまとめたものではなく、実際に歴史的な文献や資料に触れながら専門的に学びたいと考えていました。専修大学の歴史学科は、基礎を固めた上で自分の関心に合った分野を選べることと、日本史・世界史の双方について幅広い時代と地域を学べるのが魅力的でした。史料を読み解く授業は難しさもありますが、その分新たな発見が多く、歴史を自分の目で辿る面白さを実感しています。

私の1週間(2年次前期)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1					
2	生きることの日本近代史1	古文書学概論1		中国古代の国家と家族1	現代文化論1
3	社会の哲学	音楽論		日本文学概論1	歴史資料研究法17
4	ゼミナール1			総合世界史3	マンガ論
5				日本文化史1	

私がめざす将来像

将来は大学で培った思考力と表現力を活かして、人や社会に貢献できる働き方を目指しています。資料を読み解き、筋道立てて考え、自分の言葉で伝えるという歴史学科での学びは、どんな場面でも役立つ力だと思います。このような大学で身につけた姿勢を大切にしながら、幅広い分野に挑戦していきたいです。

Topics

〈 トピックス 〉



さまざまな行事

春休み、夏休みなど長期休暇中に各ゼミごとに行うゼミナール合宿、卒業論文を書いた後で卒業を祝う会など、学科全体やゼミ単位での多彩な行事を設定しています。



実習を支える設備

遺物や調査報告書などが豊富な考古学実習室(1号館)、辞書や参考文献・機器などがそろった史学古文書調査実習室(2号館)で研究できます。



専修大学歴史学会

教員・大学院生・学生による学術研究団体です。毎年1回、6月に大会が開催され研究報告を行い、年2回発行される『専修史学』には教員や大学院生による研究のほか、各ゼミナールで取り組んだ研究プロジェクトの成果も掲載されています。

Graduate's Voice

〈 卒業生インタビュー 〉

人事として人を見極める際、大学で培った観察眼と考え方が役立っています。

渡邊 早織さん 田中 正敬ゼミ 2023年3月卒 勤務先 株式会社ニッセイコム

人事として、採用業務を行っております。新卒採用、第二新卒採用、経験者採用と広く担当しており、業務の中では年齢、性別、職種の異なる候補者様とお話する機会が多くあります。その際には「多角的な視点から物事を観察する」「相手にはどんな背景があるのかを考える」という、授業や卒業論文作成時に身につけたことが活かされていると感じています。





環境地理学科

地球と対話する・世界を知る——
フィールドワークという実践力を磨いて
現実の課題解決を図る。

学びの特徴

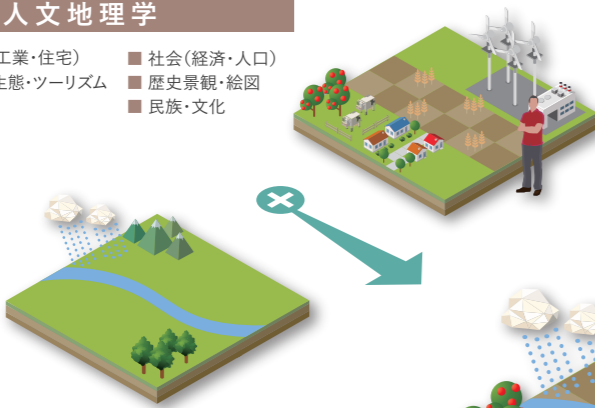
多様な地域から学ぶ かけがえのない地球が舞台
変動する社会への即応

人間活動の飛躍的拡大によって、
かつて経験したことのない
急激な環境変化や地域問題、
グローバルな社会変動が生じています。
環境地理学科では人文地理学と
自然地理学をベースにして、
地域や環境をめぐる現代の諸課題を的確に理解し、
その解決法を探求するための
分析力・思考力を養います。



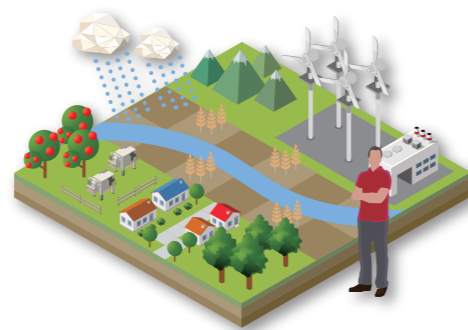
人文地理学

- 都市(商業・工業・住宅)
- 農山漁村の生態・ツーリズム
- 交通・情報
- 社会(経済・人口)
- 歴史景観・絵図
- 民族・文化



環境地理学

- 循環型社会
- 地球温暖化問題
- 資源・エネルギー問題
- 自然保護・景観保全
- 風土論
- 観光
- 災害論・ハザードマップ
- 少子高齢化・人口減少社会
- 地域の再生・開発
- リモートセンシング・GIS
- 先進国や第三世界の地域研究・環境問題研究



自然地理学

- 測量・地図
- 地形発達・地形災害
- 気候景観・気候変動
- 水(河川・湖沼・地下水)
- 植生と土壌
- グローバルチェンジ

力を入れている分野

<p>都市 都市再開発、居住環境、人口変動、エコシティ、都市気候</p>	<p>災害 防災・減災と地域社会、活断層、地すべり、ゲリラ豪雨</p>	<p>山岳 山の自然、山村の文化、過疎、ジオツーリズム、アルプス、アンデス</p>	<p>歴史環境 古地図・風景画・地形図の分析、歴史的景観の保全</p>	<p>ヨーロッパ・アジア地域 ドイツ、オーストリア、フィリピン、タイ</p>
---	--	--	--	---

Curriculum (カリキュラム)

■ゼミナール ■実習を主とする科目 ■講義を主とする科目

1年次	2年次	3年次	4年次
<ul style="list-style-type: none"> ■ 専門入門ゼミナール ■ 地理学エクスカージョン ■ 環境地理学概論及び調査法 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 野外調査法1 ■ 人文環境学調査法1・2・3・4・5 ■ 測量学 ■ 応用測量学 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ゼミナール1 ■ 野外調査法2 ■ 自然環境学調査法1・2・3 ■ 測量学実習 ■ 地理情報システム実習1・2 ■ リモートセンシング実習1・2 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ゼミナール2
<ul style="list-style-type: none"> ■ 人文地理学概論1・2 ■ 自然地理学概論1・2 ■ 地誌学概論 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農村環境学1・2 ■ 都市環境学1・2 ■ 歴史環境学1・2 ■ 社会環境学1・2 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地誌学1・2 ■ 気候環境学1・2 ■ 地形環境学1・2 ■ 地域生態学1・2 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境地図学1・2 ■ 空間情報学1・2 ■ 文化地理学 ■ 陸水学
			<ul style="list-style-type: none"> ■ 経済地理学 ■ 地域研究1・2・3・4・5 ■ 文化地理学 ■ 環境地理学特殊講義 A・B・C

卒業論文

POINT

カリキュラムの特徴

- 複合領域・学際領域の研究教育
- 講義と実習を対にした科目構成
- フィールドワークの重視
- 地理情報教育の拡充と資格取得
- 少人数教育と充実したスタッフ

環境問題や地域問題へのアプローチ

環境地理学科では、人文・社会科学と自然科学をゆるやかに統合した複合的な学問領域として地理学を展開しています。実践と応用の能力を高め、社会の各分野で活躍できる人材を養成します。全員が卒業論文に取り組み、一人ひとりが地域を調査する力を磨きます。

Courses (資格取得が可能な授業)

測量学実習

環境地理学では、自然環境と人間活動が作り上げてきた大地の姿を調べ、地図で表現することが重視されます。このため、「測量学実習」をはじめとする測量、地図、空間情報に関する科目があり、一定の要件を満たして卒業すると、国家資格「測量士補」(1年間の実務経験を加えると「測量士」)になることができます。「測量学実習」では、キャンパス中庭を利用して精密な測量を行い、地形図を作成します。



野外調査法1

2年生の必修科目となっており、フィールドワークの計画・実施・まとめの3つのフェーズの体験を通して、地域調査に必要な技法や思考法の基礎を修得します。宿泊を伴う野外実習を行い、実際に地図を持って現地を歩き野外調査の力を養います。この授業や環境地理学科で指定された科目を履修し、所定の講習会に参加することで公益社団法人日本地理学会が認定する「地域調査士」の資格が得られます。



卒業後の将来像

社会人としての活躍

- 地方公務員
- 教員
- 測量調査・建設コンサルタント
- 地図・情報産業
- 運輸・不動産
- 卸・小売業
- その他 一般企業

取得可能な資格

- 教員免許 (中学校:社会、高校:地理歴史、公民)
- 司書
- 司書教諭
- 学校司書
- 学芸員
- 測量士補
- GIS学術士
- 地域調査士

大学院への進路

学部課程修了後、専門知識や技術を深めて高度な資格(GIS専門学術士・専門地域調査士)を得たり、教員や学芸員に就いたりすることをめざして大学院に進学できます。希望者の適性や専門分野をふまえ進路指導を行います。専修大学大学院文学研究科地理学専攻に内部進学する場合は入学金免除などの特典を受けられます。

Professor's Message

〈 教員紹介 〉

※2026年4月現在



赤坂 郁美 教授

気候環境学

私たちは気候を目でみたり、手で触ったりすることはできません。風や気温を測り、その記録を紐解くことで初めて気候の姿がみえてきます。そんなミステリアスな気候の姿をおい



江崎 雄治 教授

人口地理学

たとえば人口ピラミッドの形をみることで、地域の抱える問題や、これからの発展の可能性までも知ることができます。少子高齢化時代を迎え、ますます重要になる人口問題を、地域の視点から学びます。



苅谷 愛彦 教授

環境地形学

地形のできたや壊されたか、過去数10万年間の自然環境の変動過程を解き明かすために、フィールドワークを重視した研究を進めています。こうした研究は自然地理学の基礎となるばかりか、地域の防災・減災や自然保護にも役立ちます。



小泉 諒 教授

都市地理学

私たちの暮らす都市は、常に変化を続けています。統計データやGIS(地理情報システム)を活用した分析と、現地でのフィールドワークを組み合わせ、東京大都市圏の空間パターンの形成やその変容を研究しています。



鈴木 比奈子 助教

災害地理学

自然災害は自然と人が交わったときに起きる事象です。災害を知り、備えるには現地に残る災害の痕跡がヒントになります。自然災害アーカイブやジオパークを題材に、自然災害がもたらす地理学的な特徴を研究しています。



高岡 貞夫 教授

生態地理学

原生林から里山まで、さまざまな森や草原を対象にして研究を行っています。植物や動物、土、水のことなど、森の自然を調べることを通じて生態系の仕組みやその成り立ちを知ったり、人と自然のつながりについて考えたりします。



縫村 崇行 准教授

環境地国学

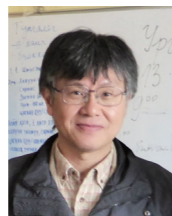
自然現象や人間活動の社会への影響を把握するうえで、その地理空間分布を見ることは重要です。わかりやすい地図化はその事象の理解への大きな手助けとなります。地図を通して新しい視点から世界を見てみましょう。



三河 雅弘 教授

歴史地理学

私たちが生活している場は過去の積み重ねりから成り立っています。私は、そうした現在と過去との関係を重視しています。歴史資料の分析や現地調査をもとに過去を考察し、現在に対する理解を深めていきたいと思っています。



山本 充 教授

地誌学

地域統合、そしてグローバリゼーションが多様なかたちで進展するなか、ヨーロッパや日本といった地域において、フィールドワークによって都市や農村の変容・実態を把握するとともに、こうした地域を総合的にシステムとして把握する試みを行っています。



吉田 国光 教授

農村地理学(資源利用、生業活動、村落社会、農山漁村の景観)

農林漁業の行われる農地や漁場といった資源をみんなでやりくりして利用する仕組みを研究してきました。ご当地グルメなどのローカルフードと「地域らしさ」の消費などの文化や社会に関する研究もしてきました。

Graduation Thesis

〈 卒業論文の例 〉

4年間の学習・研究の総仕上げ。

環境地理学では、フィールドワークと空間情報分析の双方に重点をおいた体系的な教育カリキュラムを構築。地域や環境をめぐる諸課題、自然災害や環境変動など、地理学の広範な学問領域をカバーできるよう、9名の専任教員がゼミを展開しています。3・4年次には9つのゼミのいずれかに学生全員が所属し、卒業研究(卒論)にとりくみます。所定の科目の単位を取得することなど要件を満たすことで「測量士補」、「GIS学術士」、「地域調査士」などの資格が得られます。



卒業論文の一例

- 静岡県天竜川下流域の微地形から推定する液状化危険地域
- キリマンジャロ山麓におけるホームガーデンの構造とその変容
- 東秩父山地の三波川変成岩分布域における地すべりの特性
- 石神井公園におけるクールアイランド現象と冷気のじみだし効果
- 会津地方における豪族屋敷村の分布とその空間構造
- 土岐善庵が「台東区」の歌に表現した台東区
- 東京都板橋区における南アジア系料理店舗の展開
- 都市景観におけるリーガルウォールの有効性
—横浜市桜木町を事例に—
- 藤沢市の公営住宅地域における少子高齢化の進展
- 神奈川県横浜市中区寿町の変容
—「ドヤのまち」から「福祉のまち」へ—

Student's Voice

〈 在学生インタビュー 〉

高校時代から好きな地理学を深めながら、新たな興味にも出会える環境です。

安村 早紋 さん 三河ゼミ 3年生(取材時)

高校で地理を専攻しており、地域で起こる事象の背景をより深く探求したいと思い、環境地理学学科に入りました。この学科の魅力は、地理学を多角的な視点から捉えられる点です。入学前は歴史地理学という分野を知りませんでした。しかしその分野の授業を受け、時間を遡って地域を分析するという観念に新鮮さを感じ、ゼミも歴史地理学を専攻できるところに決めました。このように、本学科は自分の関心を深めながら、新しい興味にも出会うことができる環境が整っています。

私の1週間(2年次前期)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	空間情報学1	人文地理学概論1	地理情報システム実習1		
2	人文環境学調査法3	野外調査法1	農村環境学2		都市環境学1
3	地域生態学1		人文環境学調査法5		
4			環境地理学特殊講義B		
5	自然環境学調査法3				

私がめざす将来像

将来は全国転勤がある企業に就職し、各地で得られる経験を自分の成長につなげたいと考えています。専修大学ではフィールドワークをはじめ、地域の特性や環境、社会の成り立ちを多角的に学んできました。これらの視点を生かし、赴任先ごとの特色を理解しながら、地域に寄り添った仕事ができる社会人を目指したいです。

Courses

〈 豊富な実習系科目 〉



地理情報システム実習1

地理情報システム(GIS)の基本をコンピュータ端末室で学びます。「GIS学術士」の資格を得るための必修授業の一つです。



人文環境学調査法2

統計解析などの室内作業と、聞き取り調査などのフィールドワークにとりくみ、地域の抱えている諸課題を的確に分析できる能力を養います。



自然環境学調査法1

場所による気候の違いをとらえるために観測技術やデータ分析手法を学びます。測器を使って、気温や風向・風速を実際に測ってみます。



人文環境学調査法4

人口統計などの地域別の各種データを、統計学的手法を交えながら分析することにより地域の特性を浮かび上がらせる方法を学びます。

Graduate's Voice

〈 卒業生インタビュー 〉

多面的に物事を捉える力が、幅広い業務をこなすうえで役立っています。

佐藤 輝雪 さん 赤坂ゼミ 2025年3月卒

勤務先

気象庁仙台管区気象台

気候環境学ゼミで関東の降雪や新潟県のフェーン現象について多角的な視点で研究を行い、気候気象分野の興味関心を深め、気象庁に入庁しました。現在は、東北地方の気象台組織全体を管轄する総務課に所属し、主に官用車の管理や文書管理を担当しています。大学時代に培ってきた多面的に物事を捉える力が、現在の幅広い業務を担う総務課での仕事に活かしている実感があります。



ジャーナリズム学科

受け手から表現者へ、
時代の証言者になる。
始まる、専修ジャーナリズム。



学びの特徴

「ジャーナリズム」という学科名には、自分の言葉で他者と対話する能力を身につける、という思いを込めています。現代社会が直面しているさまざまな課題は、それぞれが単独に存在しているわけではありません。ジャーナリズム学科では問題の複雑さを理解し、対話を重ねて解決してゆく力を養うことを目標にしています。こうした目標を達成するために本学科では以下の4つの「学びの柱」を設定し、世界の国々で、地域社会の中で、あるいは広くメディアの世界で起きている現実と向き合う「情報スペシャリスト」を養成します。

ジャーナリズム

新聞学・放送学・出版学のメディア別基礎科目、フォト・ウェブ・国際・科学・経済・政治・スポーツ・戦争・沖縄の「〇〇ジャーナリズム論」、さらに広報・PR論、インタビュー論、調査報道論、そして憲法とジャーナリズムなどの専門科目が体系的に用意されています。

メディアプロデュース

パブリックメディア論の基礎科目に続き、メディアコンテンツ制作、情報マーケティングなどビジネスの側面と、グラフィックデザイン、アニメ産業論、マンガ論などの表現の側面の科目が幅広く用意されています。

メディアプロデュース

メディアコンテンツの制作・製作を学ぶ

【職業像】
ディレクター、プロデューサー

ジャーナリズム

取材・報道を学ぶ

【職業像】
新聞・通信・放送記者

スポーツインテリジェンス

スポーツの情報科学的アプローチを学ぶ

【職業像】
アナリスト、指導者、プロアスリート

情報文化アーカイブ

文化情報資源・図書館学、博物館学、編集を学ぶ

【職業像】
司書、学芸員、編集者

情報文化アーカイブ

市民・娯楽・教育・宗教・難民といった「〇〇とメディア」のほか、アーカイブ関連の政策・法制・マネジメント、文化資源や史料調査といった図書館・博物館の専門科目まで、学部レベルでアーカイブ専門科目を数多く配置する日本で唯一の学科です。

Curriculum (カリキュラム)

1年次

入学した1年次は、共通の入門科目、基礎科目と、学科独自の専門科目や概論を学びます。

2年次

それぞれの専門にあわせた「マイ・カリキュラム」を作り、自分の興味に即した講義を受けることになります。

3年次

すべての講義は半年単位のセメスター制を完全採用するなど、海外留学にも対応しています。

4年次

最後の1年の中心は「卒業論文・制作」です。所属したゼミの先生の指導のもと、4年間の学修の総仕上げを行います。

所定の科目を履修することで下に掲げた免状や資格の取得も可能です。

取得可能な資格

司書、学校司書、学芸員、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者基礎資格(共通I、II、III)

5つの学び方

日本唯一のジャーナリズム学科は、メディアコンテンツを教育研究の対象としてきた旧文学部人文・ジャーナリズム学科と、表現手法を学び、育む旧ネットワーク情報学部メディアプロデュースプログラムのコラボレーションによって生まれました。そしてもう一つの特徴は、スポーツ分野での情報の高度利用に関する教育プログラムを学ぶスポーツインテリジェンス系科目の設置です。講義、実習、プロジェクト、ゼミ、卒業論文・制作の5つの学び方によって、情報スペシャリストを養成します。

「講義」



歴史や概論といった共通科目以外は、4つの学びの柱ごとに年次に合わせて配置された科目(それぞれ約20科目が用意されています)を学んでいくことになります。必修科目が少ないのが特徴で、自分が特に力を入れたい学びの系統を中心に多くの選択科目を自由に学べるほか、他学部他学科の講義も積極的に履修することを勧めています。

「実習」や「プロジェクト」



講談社から寄贈された人物アーカイブを利用した「情報公開・公文書管理」や史料資料の扱いを学ぶ「記録・史料調査実習」、スポーツデータを活用した「測定・調査実習」、そして沖縄で1週間のフィールドワークを行なう「沖縄ジャーナリズム論」など、数多くの実習系講義が用意されています(写真は普天間基地を視察した様子)。

「ゼミ」と「卒業論文・制作」



全員が所属する少人数でのゼミ活動は、大学生活の中心となります。次のページで紹介する教員ごとに3・4年の2年間、特色あるゼミ活動を行います。多くのゼミでは、日常の活動成果を商業誌に投稿したり、学会賞を獲得するなどの成果を挙げています(写真は専大生のスポーツ活動を伝える新聞を制作している様子)。

卒業後の将来像

新聞・通信

朝日新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、中日新聞社(東京新聞)、福島民報社、産経新聞社、北海道新聞社、下野新聞社、沖縄タイムス社、信濃毎日新聞社、共同通信、時事通信、アフロ他

出版

東洋経済新報社、KADOKAWA、ポイジャー、印刷学会出版部、トーハン、eBook Japan、メディアドゥ他

アニメーション・ゲーム

プロダクションIG、シンエイ動画、びえろ、オーエルエム、A1ピクチャーズ、ボンズ、ファンワークス、バンダイナムコエンターテインメント、ゲームオン他

広告

東急エージェンシー、朝日広告、電通テック、サイバーエージェント、電通ダイレクトフォース他

放送

NHK、フジテレビ、朝日放送、静岡朝日放送、BS朝日放送、岩手放送、テレビ神奈川、テレビ静岡、大分放送、青森テレビ、テレビ山口、沖縄テレビ放送、ラジオ日本、ジュビター・テレコム、平塚CATV他

公共団体

放送批評懇談会、図書館流通センター、石岡市教育委員会、文学・活字文化振興財団、目黒区役所、十日町市役所他

番組・映像・CM制作

テレビ朝日映像、NEXTEP、フレックス、SFG、WAON、オールアウト、TBSスパークル、泉放送制作、キメラ、IVS、イマジカ、ロボット、アマナ、極東テレビ、オニオン、すずまる、電通クリエイティブ・クロス他

大学院

専修大学文学研究科ジャーナリズム学専攻、早稲田大学大学院ジャーナリズムコース、東京外国語大学大学院、日本女子大学大学院他

Professor's Message

〈 教員紹介 〉

※2026年4月現在

■ジャーナリズム ■メディアプロデュース ■情報文化アーカイブ ■スポーツインテリジェンス

李 宇ヨン 教授
スポーツ文化の国際比較研究

スポーツ現場のコーチングにおいて、指導者の哲学、年齢別方法、文化(国内・外)などの違いを理解し、応用、事例研究を行っていききたいと思います。

荻原 和樹 准教授
データ可視化、データ報道

データの氾濫する現代社会では、数字を正しく読み解き、背景にある構造や文脈を伝える力が不可欠です。自らの関心や社会問題をデータによってどのように表現すればよいか考えていきましょう。

齋藤 実 教授
スポーツ医学情報

スポーツの可能性について、様々な領域からアプローチすることで高度なスポーツリテラシーを身につけ、その価値を探っていきましょう。

高島 裕之 教授
博物館資料調査研究

遺跡出土の「陶磁器」は、土の中でも腐らず残るため、過去の人々の生活、文化、交易の実像を探る「資料」です。その情報を収集・整理し、「資料の本質」をみきわめていきます。

高田 昌幸 特任教授
社会問題とジャーナリズム、調査報道

社会を動かす調査報道。その可能性と推進の条件を考えます。歴史や実社会との接点を大切に、適切な取材プロセスとは何かを研究します。ぜひ、一緒に!

武田 徹 教授
ジャーナリズムと社会

アルタミラ洞窟画からSNSまで、メディアと人類の歴史のなかで社会のあり方を考え、正しく情報を受信・発信できるジャーナリズム・リテラシーを身につけていきましょう。

平井 信太郎 特任教授
広告コミュニケーション

生活シーンにあふれる「広告」。そこにはどんなメッセージが込められているのでしょうか。様々な広告事例から広告コミュニケーションの理論と潮流、手法などを考察。広告から現代社会を読み解いていきます。

平田 大輔 教授
スポーツ心理の情報分析

こころと身体の繋がりについて、健康増進、スポーツ競技などでどう活かされているのかについて学んでいきます。

松本 淳 教授
地域とコンテンツ産業

世界で人気を博するアニメなどのコンテンツを題材に、メディアや地域における位置づけ、産業としての可能性と課題を、実践を通じて学びます。

三木 由希子 教授
市民社会と情報の自由

社会を変えていく政治、行政、メディアという存在と、問題を社会に提起し変化を求める市民の関係はさまざまです。情報を軸に法制度や相互の関係性を考えていきます。

村上 賢司 特任教授
映像メディア表現

企画・構成から撮影・編集・発表までの番組・ドキュメンタリー制作の過程を体系的に学び、現代社会を独自の視点で映像表現する力を身につけましょう。

山田 健太 教授
言論法(表現の自由)

いつも使っているSNSのほか、テレビや新聞、ポストに入るチラシ、デモや集会……。さまざまな表現活動が、何を伝え、伝えられているのか、現場に出かけ一緒に考えましょう。

若井 江利 准教授
スポーツ政策

スポーツを「する」「みる」「ささえる」視点から公共政策やアスリート支援について学んでいきましょう。

渡辺 英次 教授
ライフステージと健康情報

からだに良い運動は? 健康のためには1日何歩? 最適な質・量・タイミングは? いろいろな「?」をたくさん目の目で考えてみましょう。

And more 他大学では学べないユニークなメディア企業・組織協力講座群

日本写真家協会
「フォト・ジャーナリズム論」
日本写真家協会というプロの写真家集団との協力講座で、毎年違った写真家が皆さんと一緒に報道写真とは何かを考えます。世界で活躍する写真家が、自らが撮った作品を題材に、写真の魅力を語ります。

朝日新聞社
「科学ジャーナリズム論」
2011年の東日本大震災に併う福島第一原発事故のあと、改めて問われる科学ジャーナリズムのありようを、新聞社の科学部や社会部の記者がじっくり聞かれます。

日本経済新聞社
「経済ジャーナリズム論」
日本のみならず世界の「いま」を経済の視点から解剖します。マクロからミクロまで経済のプロが分かりやすく、しかし詳細に語る濃密な90分は就活にも最適。

読売新聞社
「政治ジャーナリズム論」
日本の政治をもっとも間近で観察し報道している政治部の現役記者、社説等を書く論説委員や調査研究室研究員が、過去から現在に至る政治の仕組みや政治報道のポイントをレクチャーします。

TAMAKIのスポーツジャーナリズム
「スポーツジャーナリズム論」
皆さんはスポーツのことをどれくらい知っているでしょうか? 実は、私たちはスポーツのことを何も知りません。スポーツ文化評論家の玉木氏が真のスポーツジャーナリズムを語ります。

東京新聞
「戦争ジャーナリズム論」
戦争をいかに報じるかはジャーナリズム最大のテーマ。平和をどう維持し、どう希求するか、講義に加えて広島ほか日本各地を訪れ、当事者に話を聞きつつ一緒に考えます。

毎日新聞社
「国際ジャーナリズム論」
世界各国取材してきた特派員が、世界でいま起きている出来事の裏表を分かりやすく解説します。それは、それぞれの国・地域、人々が持つ多様な価値観を紹介することでもあり、ものの見方を養います。

沖縄タイムス社
「沖縄ジャーナリズム論」
沖縄で実施する実習型の講義科目で、本学科の特徴を最もよく表す科目です。ガマに入ったり、米軍基地を視察したりしたほか、集団自決の話も体験者から聞いたりします。

NEXTEP
「メディアコンテンツ制作」
フジテレビ制作子会社NEXTEPの番組制作講座。番組担当者が講義を行います。実際の映像・番組制作現場の姿を正しく伝え、ワークショップ形式で、未来の可能性について議論を深めます。

Student's Voice

〈 在学生インタビュー 〉

実際を知ること興味を伸ばし、
自分の言葉で社会に発信する仕事をしたいです。

小松 沙耶 さん 三木プロジェクト 2年生(取材時)

ジャーナリストになるための知識やノウハウだけではなく、マンガやアニメ、歴史など、多彩なジャンルの知見を広げられるカリキュラムに魅力を感じ、ジャーナリズム学科に決めました。様々な面白い講義がある中で、特に新聞やテレビといったメディア業界で実際に活躍している方々の話を聞けるのは、自分の将来を考えるうえでとても貴重な経験になると思います。また、学生自らが記事を書いたり、映像を作ったりする実践的な講義があることもこの学科ならではの特徴です。

私の1週間(1年次前期)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1			Intermediate English (RL) 1a	ビジュアル文化論	
2	データ分析入門	専修大学 入門ゼミナール	ジャーナリズム論	スポーツリテラシー	Intermediate English (SW) 1a
3	中国語初級1a	倫理学		メディア・コミュニケーション史	中国語初級2a
4	パブリックメディア論	教育学入門			世界の文学
5			あなたと自然科学		

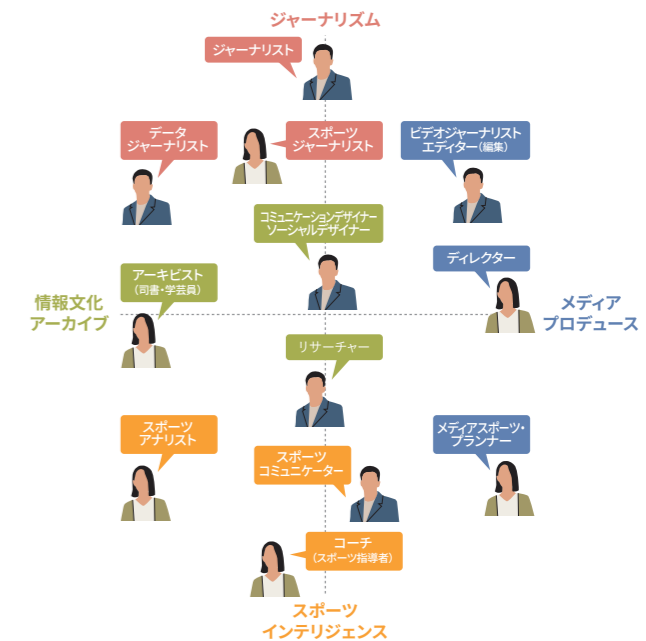
私がめざす将来像

インターンシップで新聞社に行き、実務体験をしたことがきっかけで、新聞業界で働きたいと考えるようになりました。学科で学んだ「物事を客観的に分析し、多角的な視点で情報と向き合う力」を活かし、新聞というオールドメディアの役割や意義を大切に、自分の言葉で社会に情報を発信していきたいです。

POINT!

専修J(ジャーナリズム)の特色

メディア系の学部・学科は日本に数多く存在します。しかしその多くは社会学系の科目やマスコミュニケーションの理論、歴史研究に手を広げる一方で、実務教育にも力を入れる大変に間口が広い講義・実習科目を展開しています。これに対し専修Jはジャーナリズムを中心に据えることで、きめの細かいユニークな科目群を有機的に関連づけて配置しました。情報を収集・整理・検討し、自らの言葉で発表するコミュニケーション能力・情報リテラシーは、社会人として必須のもので、そして何より、現代社会とのかかわりを常に持ち、ジャーナリズムの現場と接することで、社会を見る目・考える力が身に付くのが専修Jのカリキュラムです。メディア関連の就職先は従来のマスメディアに加え、IT企業や広告会社など多方面に開かれています。もちろんNPO職員や公務員、メーカー等の会社員など、メディア系以外の就職を希望する人にとっても、社会人必須の知識と能力がきちんと身につくよう組み立てられています。



Graduate's Voice

〈 卒業生インタビュー 〉

人と向き合い続けることが、何よりも大切なことだと学びました。

五十川 裕明 さん 藤森 研ゼミ 2015年3月卒 勤務先 テレビ新広島 報道部

人文・ジャーナリズム学科(ジャーナリズムコース) ※2019年度よりジャーナリズム学科に改編

広島テレビ局で報道記者をしています。マスコミにしか伝えられないこととは何か、試行錯誤の毎日です。会社の内外で人に会い、丁寧に話を聴く積み重ねが社会を動かすこともあります。大切なのは勉強ができる、偏差値が良いという話ではなく、ただ正直に、謙虚に、人と向き合い続ける姿勢だということを専修大学で学びました。マスコミ就職に限らず、この学科では社会を知り、人に思いをはせる原点が築けます。



卒業後の進路

文学部での学びを活かして、思い描く理想の進路へと進むために

専修大学にはすべての学生の夢を実現するための手厚い支援体制が揃っています。

他業種にわたる就職先や研究への道など、先輩たちの進路は実に多種多様。

学びの先に進みたい未来を、ぜひあなたも見つけてください。

多様なバックアップが就職活動を支える。

キャリア形成支援課では、在学中の過ごし方から卒業後のキャリア選択まで、学生の個別相談に最大の情熱を注ぎ、学生が自ら最良の選択をできるよう支援しています。さらに、実践的なプログラムとして、「履歴書・ES対策講座」「How to 企業研究」「SPI準備講座」*など、豊富な講座を用意しています。これらの講座に参加することで、目標達成へのモチベーションを高め、自然と就職活動を理解できるようになります。学内企業説明会には優良企業の採用担当が集まるため、多くの学生が満足のいく就職先を決めています。資料室には、就職関連資料、ビジネス雑誌なども多く取りそろえています。ぜひ、積極的に活用してください。*プログラムは2025年度実績



個別相談の様子

〈特色あるキャリア形成支援〉

頼りになる個別相談

経験豊富なスタッフが、学生一人ひとりにきめ細かくサポートをしています。年間の相談件数は約10,000件。全国から延べ約19,000件の求人が集まります。

専大OB・OGパネルディスカッション

社会で活躍する本学OB・OGに、日々の業務や仕事のやりがい、大変さなど、社会人の本音をお話いただけます。「先輩が後輩の面倒を見る」伝統ある専修大学ならではの企画です。

学生就職アドバイザー

就職活動を乗り越えてきた内定者が、後輩の悩みや不安に対し、個別に助言します。グループでの相談も出来るので、気軽に就活のファーストステップとして利用してください。

SPI準備講座

SPI試験は、全国約18,100社の企業で採用選考に使用されています。本講座では、n進法や確率・集合、論理的課題など、SPIに頻りに出題される分野に絞り対策を進めています。

学内企業説明会

在学生と企業採用担当者との実りのある相互理解の場を提供するため、学内企業説明会を実施しています。本学学生に対する採用意欲や採用実績などをともに、企業の参加を募り開催します。

就職支援システム「S-net」

就職活動中の本学学生及び卒業生とキャリア形成支援課を結ぶコミュニケーションツールです。企業情報、求人情報、OB・OG情報、先輩の就職活動記録などを検索・閲覧することが可能で、就職活動をしている本学学生の多くが活用しています。

グローバル人材を育成するさまざまなプログラム

*詳細については「留学・国際交流」P31を参照。

国際交流センターでは、多種多様な留学プログラムを中心に、年間約220名が受講するLanguage Skills Program(留学支援講座)など、充実した講座群を提供しています。

本学での学びをもとに、より高度な研究の場へ。

より高度な専門教育を求めて、大学院へ進学する道も充実しています。専修大学大学院文学研究科には、日本語日本文学専攻、英語英米文学専攻、哲学専攻、歴史学専攻、地理学専攻、社会学専攻、心理学専攻が設けられており、それぞれが修士課程と博士後期課程を擁しています。さらに2025年より修士課程にジャーナリズム学専攻が新設されました。また本学の大学院には、世界各国からの留学生も在籍しており、多様な価値観の中で研究することができます。その他、本学での学びをもとに他大学の大学院へ進学する学生もいます。



POINT

大学院への進路状況

〈最近の主な就職先〉

教育・公務

Education / public affairs



教員(群馬・埼玉・千葉・神奈川・東京・静岡・山梨・長野・石川・愛知・沖縄等の中学校・高等学校)/KCP学園/国家公務員一般職/海上・陸上自衛隊幹部候補生/県庁(山形・千葉・新潟)/東京消防庁/警視庁警察官/県警察(静岡・長野等)/東京都特別区1類(目黒区役所)/市役所(川崎・横浜・長崎等)/イーオン

金融

finance



みずほ銀行/ファーストリテイリング/野村證券/第一生命保険/住友生命保険/明治安田生命保険/損保ジャパン日本興亜ホールディングス/SMBCフレンド証券/新生フィナンシャル/横浜信用金庫/ゆうちょ銀行/山梨中央銀行/北陸銀行/三菱東京UFJ銀行/三井住友銀行/八十二銀行/みずほフィナンシャルグループ

製造

manufacturing



セイコーエプソン/ふじや食品/住友ナコマテリアルハンドリング/キーエンス/ナック/伊藤園/蛇の目シン工業/日立化成/リンテック/カルビー/タカラスタンダード/日本ケミファ/デンソー/ディーエイチシー/東芝/三菱樹脂/富士通/オリパバス/大塚製菓

卸売・小売

Wholesale and retail



ゼビオホールディングス/ブリヂストンタイヤジャパン/ノジマ/ブックオフコーポレーション/島忠/しまむら/ローソン/モンベル/ユニクロ/ニトリ/ダイアナ/全日本食品/東急ハンズ/ゴールドウイン/東急ステーションリテールサービス/ゾフ/カシオ情報機器/資生堂ジャパン/イトーヨーカ堂/京王百貨店

マスコミ

media



日本放送協会(NHK)/日本テレビ/テレビ山口/大分放送/沖縄テレビ/USEN/朝日新聞社/毎日新聞社/読売新聞社/中日新聞社/沖縄タイムス社/東洋経済新報社/ぎょうせい/ポイジャー/幻冬舎メディアコンサルティング/国土地図/トーハン/朝日広告社/松竹/エン・ジャパン/進研アド

農・林・漁・鉱・建設

Agriculture, forestry, fishing, mining, and construction



木下工務店/住友林業/日本電設工業/角藤/戸田建設/茨城セキスイハイム/ミサワホーム北越/東京セキスイハイム/三井ホーム/東日本ハウス/日本ハウスホールディングス/アクアラボ/翔栄建設/大和ハウス/積水ハウス/パナホーム/オンテックス/大豊建設/セーフティ&ベル/吉田石材工業

運輸・不動産

Transportation and Real Estate



全日本空輸/日本航空/AIRDO/ANAウイングス/東日本旅客鉄道/東京地下鉄/三協/タカラレーベン/ダイワコーポレーション/JTBコーポレートセールス/エイチ・アイ・エス/近畿日本ツーリスト/積和不動産/ANA Cargo/ANAテレマート/小田急電鉄/京王観光/東京急行電鉄/東急リパブル/日本旅行

情報通信

Information and Communications



ジャステック/DTS/マイナビ/富士ソフト/バンダイナムコエンターテインメント/ミロク情報サービス/ゼンリン/ヤマトシステム開発/エヌ・ティ・ティ・システム技研/プラージュ/ワークスアプリケーションズ/アイネット/富士ソフト/トランス・コスモス/エヌ・ティ・ティ・データ・フロンティア/クロスキャット/KDDI/日通システム/富士通マーケティング

他の業種

Other industries



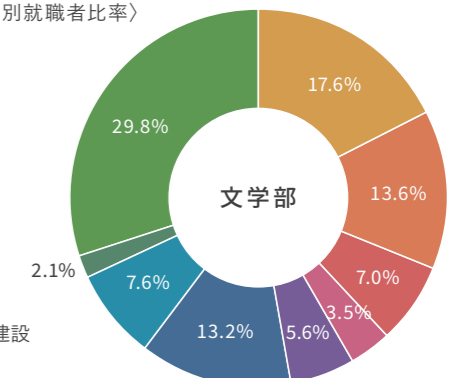
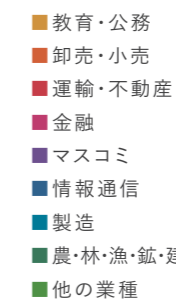
楽天/小田急/JALスカイ/すかいらーく/アパホテル/アパグループ/SPGホールマン/船井総研ホールディングス/森ビルホスピタリティコーポレーション/テンプスタッフ/京王プラザホテル/ベネッセスタイルケア/全国農業協同組合連合会/ジェフユナイテッド/高見/日本郵便/日本ホテル/スタジオオアシス/NOVAホールディングス

社会で活躍する卒業生。

多彩な学びが、幅広い分野への活路を広げる。

就職先は多分野・多業種から、バランス良く内定を獲得しています。これは、いわゆる総合文系大学であり、幅広い学部・学科において多彩な学びの場を持つ専修大学ならではの強みと言えます。なかでも文学部は、6学科が連動して興味、関心のある科目を学べますので、進路の選択肢も多様に広がります。学生の皆さんのやる気に応える環境は整っています。まずは、自分がどういった分野に興味があるのかをじっくり考えながら、進みたい道を見つけてください。

〈2024年度 業種別就職者比率〉



レベル・目的に合わせて選べる多彩なプログラム。

留学・国際交流

グローバルに活躍できる人材を目指します。

専修大学21世紀ビジョンである「社会知性の開発」の下、留学プログラムやLanguage Skills Program (留学支援講座)、留学生との交流の機会を多種多様に展開しています。海外でインターンシップを体験するコースや「専修大学国際交流会館」での留学生との協働生活を通じて多文化共生について学ぶプログラムもあり、多様な人々と協力して課題解決を図ることのできるグローバル人材の育成を目指します。

専大の7つの留学サポートシステム

- 01 充実した留学支援講座
- 02 多彩な留学プログラム
- 03 充実した経済的支援
- 04 留学説明会や留学フェアでの豊富な情報提供
- 05 充実した事前事後研修
- 06 万全の危機管理体制
- 07 最適な学習環境



■ 海外留学プログラム

プログラム名	留学期間	留学先国・地域
長期交換留学プログラム	約7~12ヶ月	米国、カナダ、オーストラリア、中国、韓国、ドイツ、フランス、メキシコなど
セメスター交換留学プログラム	約4~5ヶ月	米国、カナダ、アイルランド
中期留学プログラム	1学期間(前期または後期)	米国、カナダ、ニュージーランド、中国、韓国、ドイツ、フランス、スペインなど
春期留学プログラム	約3~4週間	カナダ、ニュージーランド、台湾、韓国、フランス、ドイツ、スペインなど
夏期留学プログラム	約3~4週間	イギリス、オーストラリア
東南アジア・スタディツアー	約3週間	タイ

■ 寮内留学プログラム

◎実施期間：前期(5月~8月) 後期(9月~翌年3月)

寮内留学プログラムとは、留学生の滞する「専修大学国際交流会館」にレジデント・パートナー(RP)として前期または後期に入寮し、専修大学21世紀ビジョンの下、留学生との協働生活を通じて異文化理解や国際コミュニケーション力を養うグローバル人材育成プログラムです。特に後期のプログラムでは、SIUインターナショナルプログラムを受講し、留学生向けに開講している日本理解(BCL)プログラムの一部に共に参加し、英語で日本の文化やビジネスについて協働学習に取り組んだり、海外客員教授による英語講義に参加します。これらの学習を通して、コミュニケーション力の醸成のみならず、課題に対する多面的な理解や複眼的な思考力を修得し、学びにつなげることができます。SIUインターナショナルプログラムについては、令和8年度カリキュラムより正規授業科目「グローバルスタディ(日本研究)」(1単位)として開講されるため、受講者は当該科目を履修し、成績評価が行われます。

■ 国際交流センター主催講座 Language Skills Program

- (2025年12月現在)
- ◎TOEFL ITP®テスト対策講座 (430点目標コース/460点目標コース)
 - ◎TOEFL®セミナー (夏期特訓コース/春期特訓コース)
 - ◎IELTS™対策講座
 - ◎週4レッスン! キャンパス英会話
 - ◎国際交流特別講演会
 - ◎留学生による異文化理解講座

■ エクステンションセンター事務課主催講座

◎TOEIC®講座

International Student's Voice < 専修大学に通う留学生の声 >

異文化交流の研究を深め、研究者として日本と中国の架け橋になりたいです。

チョウイクト 張 懿徳 さん 環境地理学科 3年生(取材時)

異文化交流への関心から日本留学を志しました。専修大学では社会環境学や都市地理学など幅広い分野を学び、GISを用いたデータ分析やフィールドワークを通して、地域社会を多角的に理解する力を学んでいます。また、現地調査やグループ発表の経験を通じて、自分の意見を的確に表現する力や協調性も養うことができました。将来は大学院に進学し、外国人住民の居住空間や地域コミュニティに関する研究をさらに深めたいと考えています。そして日本と中国との架け橋となり、国際社会に貢献できる研究者になりたいです。

印象に残っているエピソード

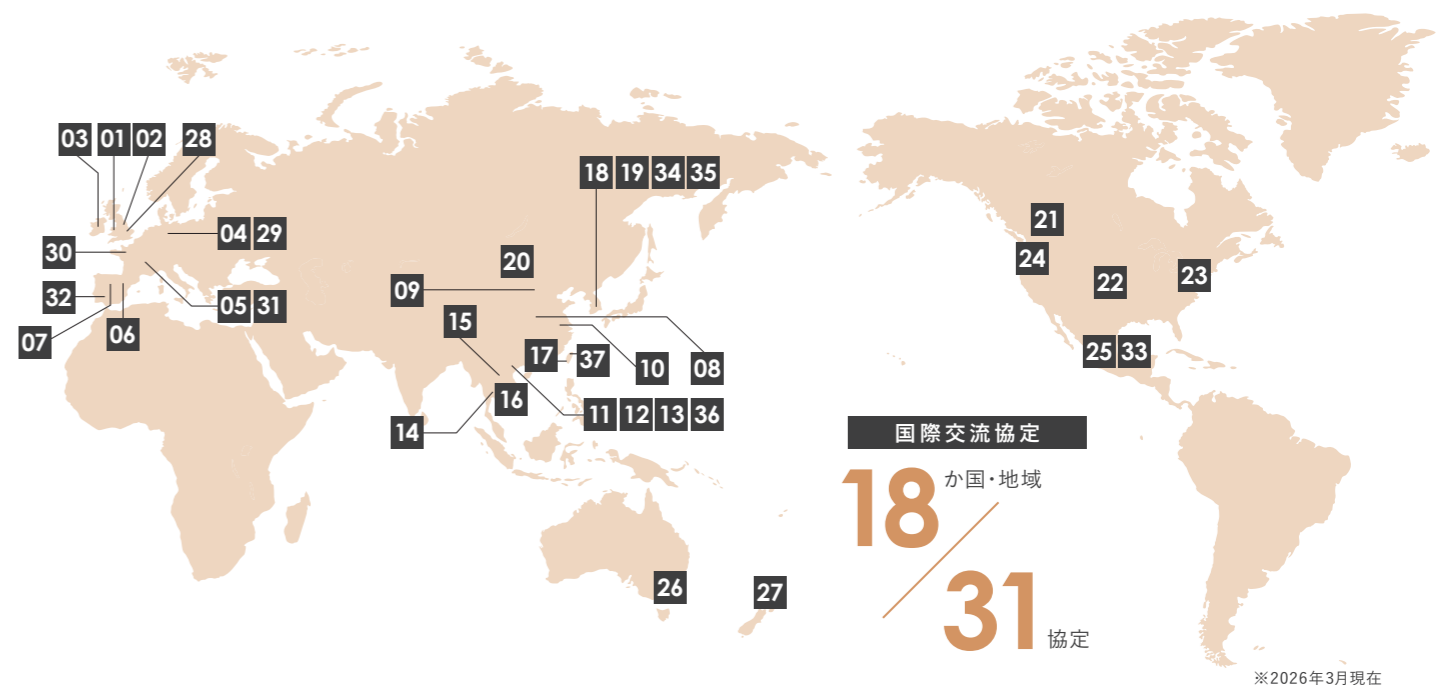
特に印象に残っているのは、三島市で行ったバス利用調査のフィールドワークです。地域住民への聞き取り調査を通じて、教室では学べない生の声に触れることができ、学問と社会のつながりを実感しました。



中国 / 上海开放大学附属高級中学 出身

Global Network of Partner Schools

厳選された協定校で充実した留学プログラムを実施



国際交流協定校 18 国・地域 27 大学
 国際交流組織間協定校 3 国・地域 4 機関
 研修校 5 国・地域 6 校

国際交流協定校 / ヨーロッパ

- 01 United Kingdom / University of Bristol
ブリistol大学
- 02 United Kingdom / York St John University
ヨークセントジョン大学
- 03 Ireland / Trinity College Dublin, The University of Dublin
ダブリン大学 トリニティカレッジ
- 04 Germany / Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg
マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク
- 05 France / Sciences Po Lyon
リヨン政治学院
- 06 Spain / Universitat de Barcelona
バルセロナ大学
- 07 Spain / Universidad Autónoma de Madrid
マドリード自治大学

国際交流協定校 / アジア

- 08 China / Northwest University
西北大学
- 09 China / Office of International Affairs, Peking University
北京大学国際関係学院
- 10 China / Shanghai University
上海大学
- 11 Vietnam / University of Social Sciences and Humanities - VNU, Hanoi
ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学
- 12 Vietnam / National Economics University
国民経済大学
- 13 Vietnam / Vietnam Academy of Social Sciences
ベトナム社会科学院
- 14 Thailand / University of the Thai Chamber of Commerce
タイ工商会議所大学
- 15 Laos / National University of Laos
ラオス国立大学

国際交流協定校 / アジア

- 16 Cambodia / The Royal University of Phnom Penh
王立プノンペン大学
- 17 Taiwan / National Sun Yat Sen University
国立中山大学
- 18 Korea / Dankook University
檀国大学
- 19 Korea / Kyung Hee University
慶熙大学
- 20 Mongolia / National University of Mongolia
モンゴル国立大学

国際交流協定校 / 北米・中米

- 21 Canada / University of Calgary
カルガリー大学
- 22 United States of America / University of Nebraska-Lincoln
ネブラスカ大学 リンカーン校
- 23 United States of America / Susquehanna University
サスケハナ大学
- 24 United States of America / University of Oregon
オレゴン大学
- 25 Mexico / Universidad Iberoamericana
イベロアメリカーナ大学

国際交流協定校 / オセアニア

- 26 Australia / University of Wollongong
ウーロンゴン大学
- 27 New Zealand / University of Waikato
ワイカト大学

研修校

- 28 United Kingdom / CIE Oxford
CIEオックスフォード
- 29 Germany / Universität Leipzig
ライプツィヒ大学
- 30 France / Institut de Touraine
トゥーレーヌ語学センター
- 31 France / Université Marie et Louis Pasteur
マリー・エ・ルイ・パスツール大学
- 32 Spain / Universidad de Málaga
マラガ大学
- 33 Mexico / University of Guanajuato
グアナファト大学

国際交流組織間協定校

- 34 Korea / Foundation of East Asia Cultural Properties Institute
財団法人東亜細亜文化財研究院
- 35 Korea / College of Humanities, Changbuk National University
忠北大学 人文学部
- 36 Vietnam / Institute for Northeast Asia Studies vietnam Academy of Social Sciences
ベトナム社会科学院 東北アジア研究所
- 37 Taiwan / College of Business, National Taipei University
国立台北大学商学院

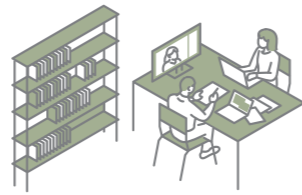
長 長期交換留学 青 夏期留学 赤 春期留学 東 東南アジア・スタディツアー
 緑 セメスター交換留学 黄 中期留学

資格課程



教職課程

国公立の中学校、高等学校等の教職に就く免許を取得するための学修をするのが教職課程です。教育に必要な専門知識や技術、実践力を身につけるための科目を履修します。中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状が取得できます。学科によって取得できる免許状の種類が異なりますので、よく確かめてください。



司書課程

司書とは、公共図書館や各種の図書館、研究機関などで、資料を収集・管理し、利用者に情報サービスを提供する専門職です。生涯学習社会といわれる今日、図書館の果たす役割は大きく、利用者に対して質の高いサービスを提供できる素養ある人材の育成をめざし、充実したカリキュラムを用意しています。



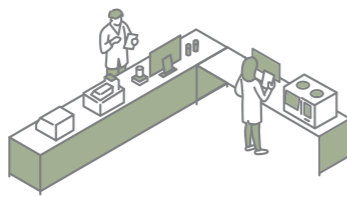
司書教諭課程

司書教諭は、教諭の一員として、小学校・中学校・高等学校等の学校図書館の運営にあたります。学校図書館法により、大規模校には司書教諭を置くことが義務づけられ、配置が進んでいます。司書教諭の資格を得るには、教職課程を併せて履修し、教員免許状を取得する必要があります。



学校司書課程

学校司書は、学校図書館における資料の貸出や授業の支援などの職務について、司書教諭と協働しながら従事する職員です。基礎的な知識や技術を修得したうえで、学校図書館の整備充実や利活用に意欲的に取り組む学校司書を養成します。



学芸員課程

学芸員は、博物館・美術館・資料館などにおいて、歴史・美術・民俗資料などの収集・保管や、調査研究を行い、得られた情報をわかりやすく市民に発信する専門職です。本学の学芸員課程では、学内においてその基礎的な知識の修得と実習を行い、さらに学外の博物館施設での実習が必須科目です。

所属する学科の専門の勉強に加え、必要な単位を修得すると、卒業と同時にそれぞれの免許および資格が取得できます。

And more その他の可能性

上にあげた資格のほかにも、文学部では次のような資格取得などに向けた可能性が開けています。

- 日本文学文化学科では、日本漢字検定試験(漢検)や、全国書道検定試験(書検)のための勉強ができます。
- 英語英米文学科では、英検、TOEIC®、TOEFL®等の試験のための勉強をすることができます。
- 環境地理学科では、必要な要件を満たせば、卒業後に「測量士補」の資格が取得でき、さらに測量に関する1年以上の実務経験を積み「測量士」の資格を取得することができます。また必要な要件を満たせば、日本地理学会が認定する「GIS学術士」「地域調査士」の資格を取得できます。

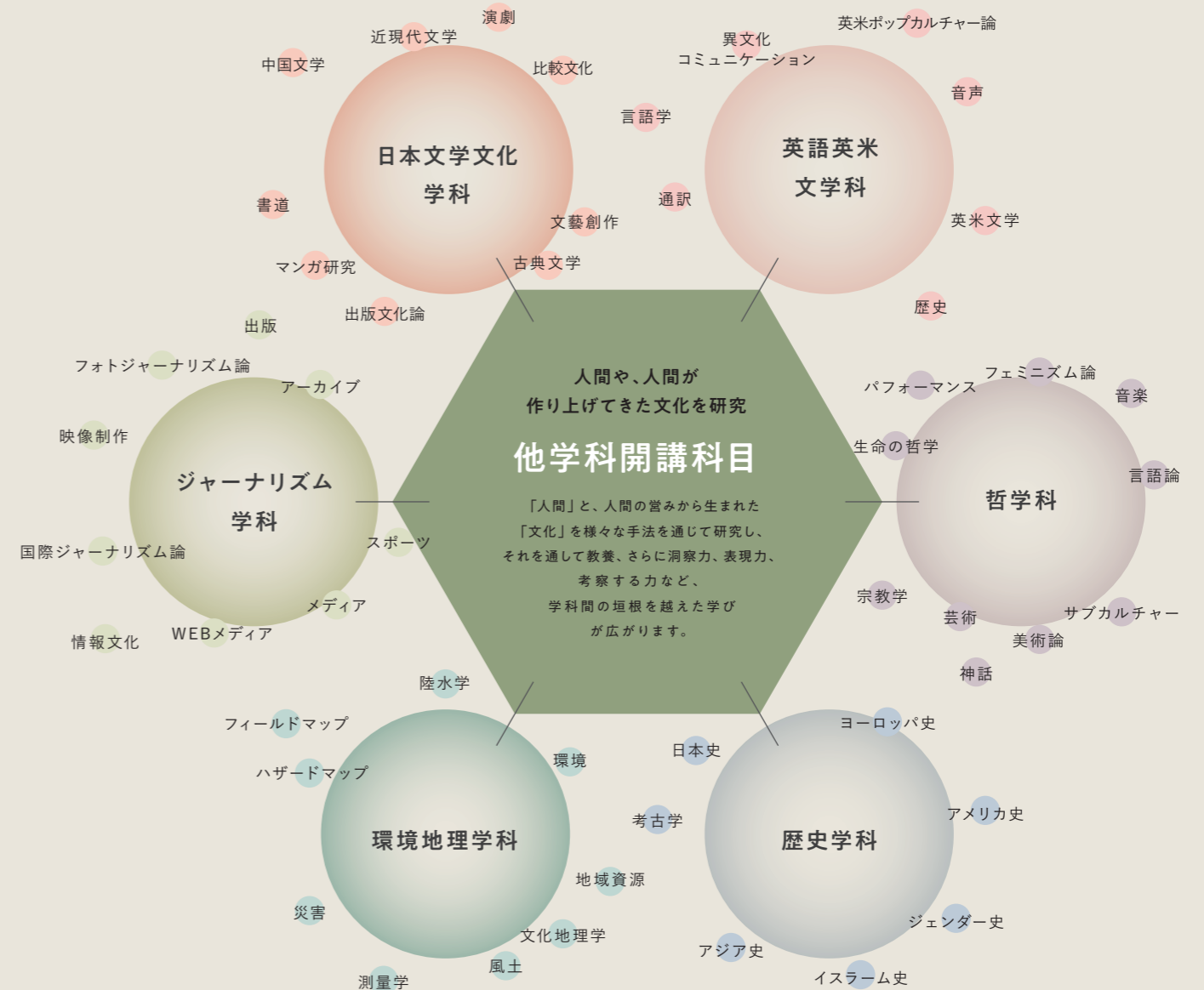


人文科学の新しい可能性を拓く。

多様な学び

Faculty Features

専修大学文学部では、人文科学のこれまでの領域を超えて行く多様な学びと出会えます。



Undergraduate data

人数 (2025.5月現在)	日本文学文化学科	英語英米文学科	哲学科	歴史学科	環境地理学科	ジャーナリズム学科
教員数(専任者) 79名 入学定員数 日本文学文化学科122名 英語英米文学科152名 哲学科76名 歴史学科142名 環境地理学科55名 ジャーナリズム学科124名 学生数 日本語学科2名 日本文学文化学科566名 英語英米文学科679名 哲学科339名 歴史学科644名 環境地理学科250名 人文・ジャーナリズム学科1名 ジャーナリズム学科561名	男:37.1% 女:62.9%	男:42.7% 女:57.3%	男:55.2% 女:44.8%	男:67.1% 女:32.9%	男:77.2% 女:22.8%	男:46.7% 女:53.3%
取得可能資格	・中学校教員免許(国語) ・高校教員免許(国語、書道) ・司書 ・司書教諭 ・学校司書 ・学芸員	・中学校教員免許(英語) ・高校教員免許(英語) ・司書 ・司書教諭 ・学校司書 ・学芸員	・中学校教員免許(社会) ・高校教員免許(地理歴史、公民) ・司書 ・司書教諭 ・学校司書 ・学芸員	・中学校教員免許(社会) ・高校教員免許(地理歴史、公民) ・司書 ・司書教諭 ・学校司書 ・学芸員	・中学校教員免許(社会) ・高校教員免許(地理歴史、公民) ・司書 ・司書教諭 ・学校司書 ・学芸員 ・測量士補 ・GIS学術士 ・地域調査士	・司書 ・学校司書 ・学芸員 ・日本スポーツ協会公認 スポーツ指導者基礎 資格(共通I、II、III)

Information

ホームページで詳しい内容をチェック!



専修大学オフィシャルページ

Senshu University Official Page

専修大学

検索

www.senshu-u.ac.jp/



日本文学文化学科オフィシャルページ

Department of Japanese Literature and Culture Official Page

専修大学 日本文学文化学科

検索

www.senshu-u.ac.jp/School/nichibun/



英語英米文学科オフィシャルページ

Department of English Official Page

専修大学 英語英米文学科

検索

www.senshu-u.ac.jp/education/faculty/letters/eibeibun/



哲学科オフィシャルページ

Department of Philosophy Official Page

専修大学 哲学科

検索

<https://www.senshu-u.ac.jp/education/faculty/letters/philosophy/>



歴史学科オフィシャルページ

Department of History Official Page

専修大学 歴史学科

検索

www.senshu-u.ac.jp/School/hist/



環境地理学科オフィシャルページ

Department of Geography Official Page

専修大学 環境地理学科

検索

www.senshu-u.ac.jp/School/geogr/



ジャーナリズム学科オフィシャルページ

Department of Journalism Official Page

専修大学 ジャーナリズム学科

検索

www.senshu-u.ac.jp/education/faculty/letters/journalism/



専修大学 学部入試情報

専修大学 入試情報

検索

www.senshu-u.ac.jp/admission/admiss_info.html



交通案内(交通アクセス)

専修大学 交通案内

検索

<https://www.senshu-u.ac.jp/access.html>

